

# 令和7年度 長野県こどもモニター事業

## 第2回こどもモニターアンケート調査結果

テーマ：ライフデザイン（人生設計）に関すること  
（自分のこと、将来のこと、仕事のこと、学校の授業やお金のこと）

令和8年3月

長野県

事業受託者：株式会社C&Yパートナーズ

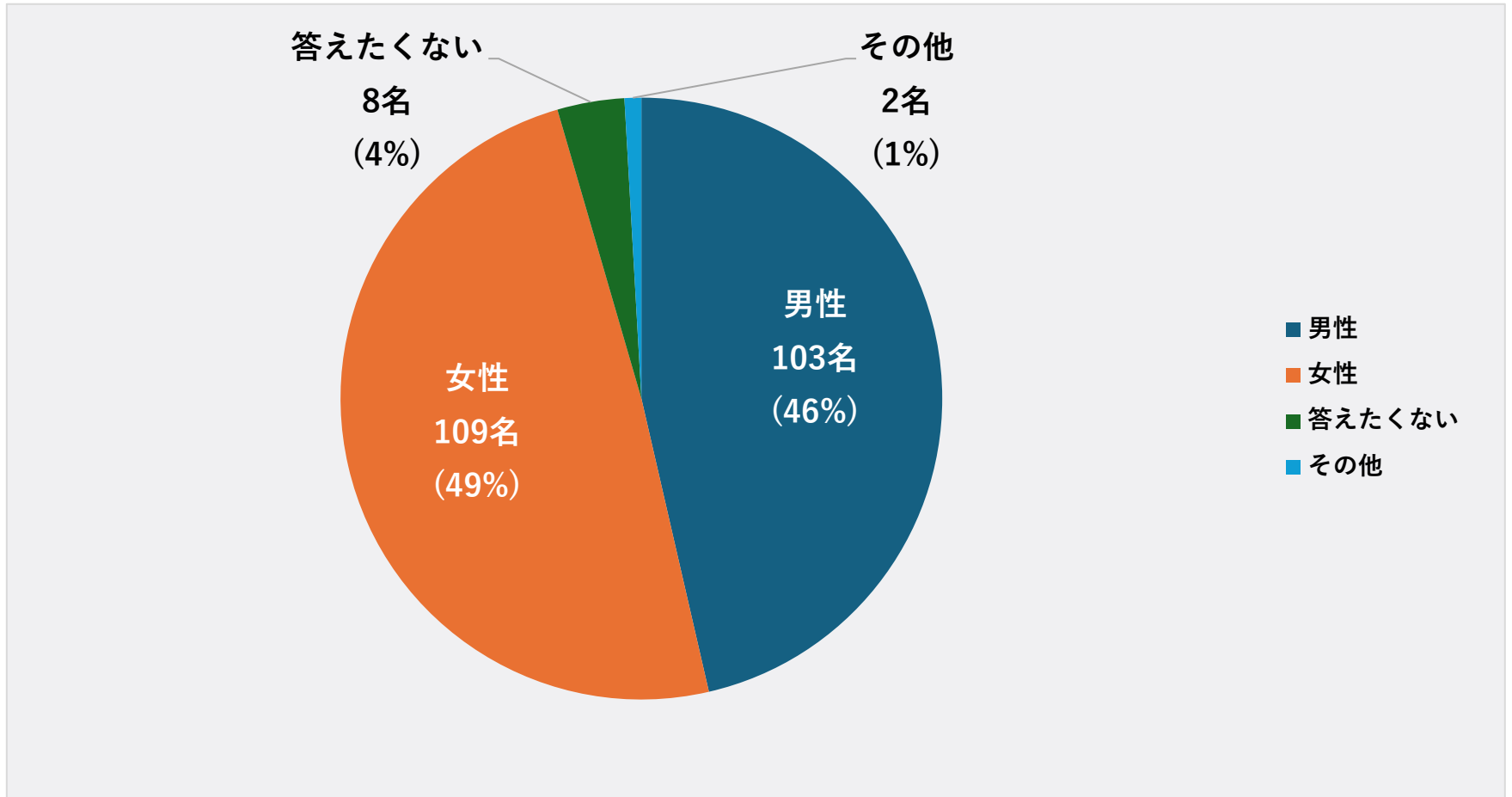
# 1.調査概要

項目	内容
調査対象者	長野県内の小学5年生～高校3年生
調査期間	令和7年12月12日（金）～ 令和8年1月13日（火）
調査方法	WEBアンケート調査
回答者数	222名（小学生：81名、中学生：78名、高校生：63名） /300名（小学生：102名、中学生：101名、高校生：97名） ※こどもモニター登録者【回答率74.0%】
調査テーマ	ライフデザイン（人生設計）に関すること  <ul style="list-style-type: none"><li>■自分のこと（自分の気持ちや考え、得意なこと、幸せに感じること）</li><li>■将来のこと（夢や目標、進路、結婚（パートナーシップ届出（※）を含む、以下同様）・子育て、住みたい場所）</li><li>■仕事のこと（やりたい仕事、仕事選びのポイント、地元の仕事、働き方）</li><li>■学校の授業やお金のこと（お金のこと、生活に必要なこと、授業や体験、地域とのつながり）</li></ul> <p>（※）性的マイノリティの方が、大切なパートナーとともに、その人らしい人生を送ることができるように、生活での不安を減らすための長野県の制度</p>

※本調査結果では、割合（％）を小数点以下で四捨五入して表示しています。

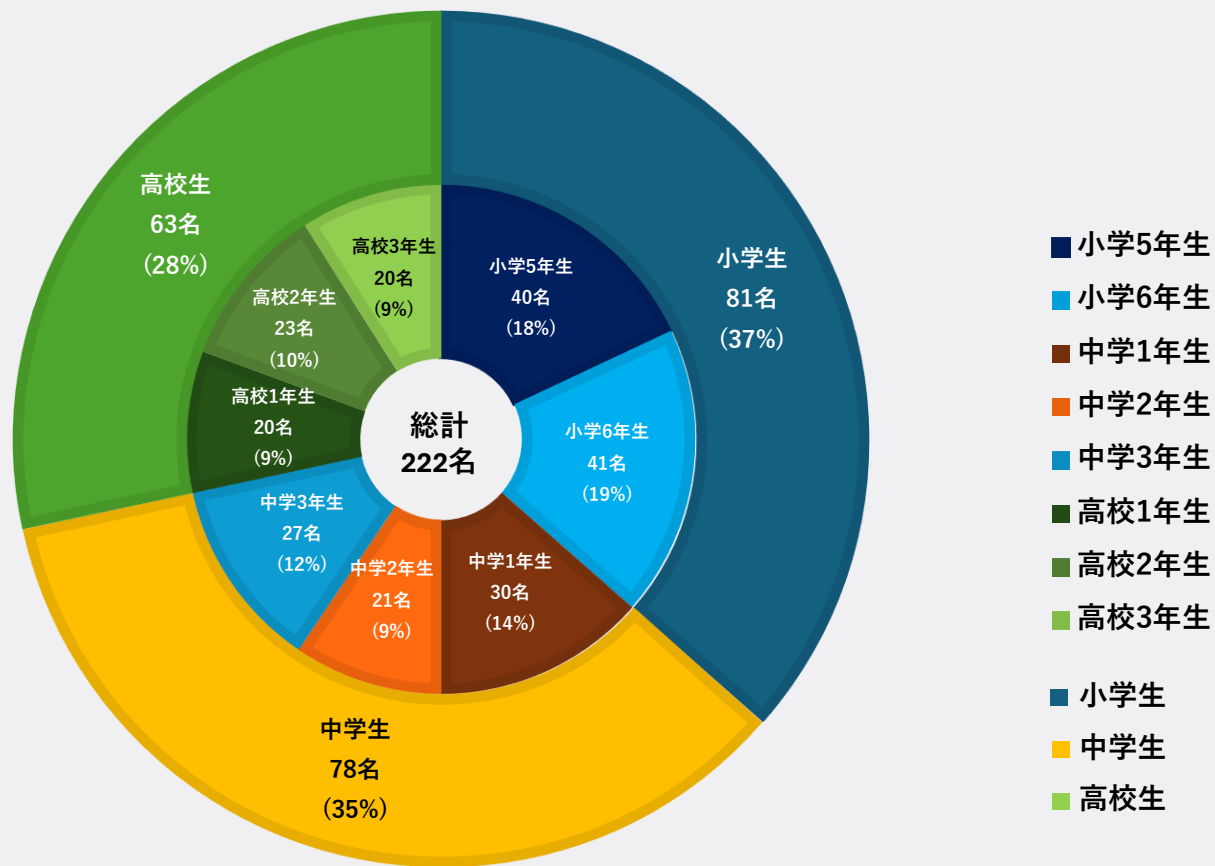
そのため、表中の数値や本文中の割合において、四捨五入の影響により表記が一致しない場合があります。

## 2-1.回答者の属性：性別構成



- ・ 男性：103名（46%）、女性：109名（49%）と6名女性が多かった。
- ・ 「答えたくない・その他」が、5%であった。

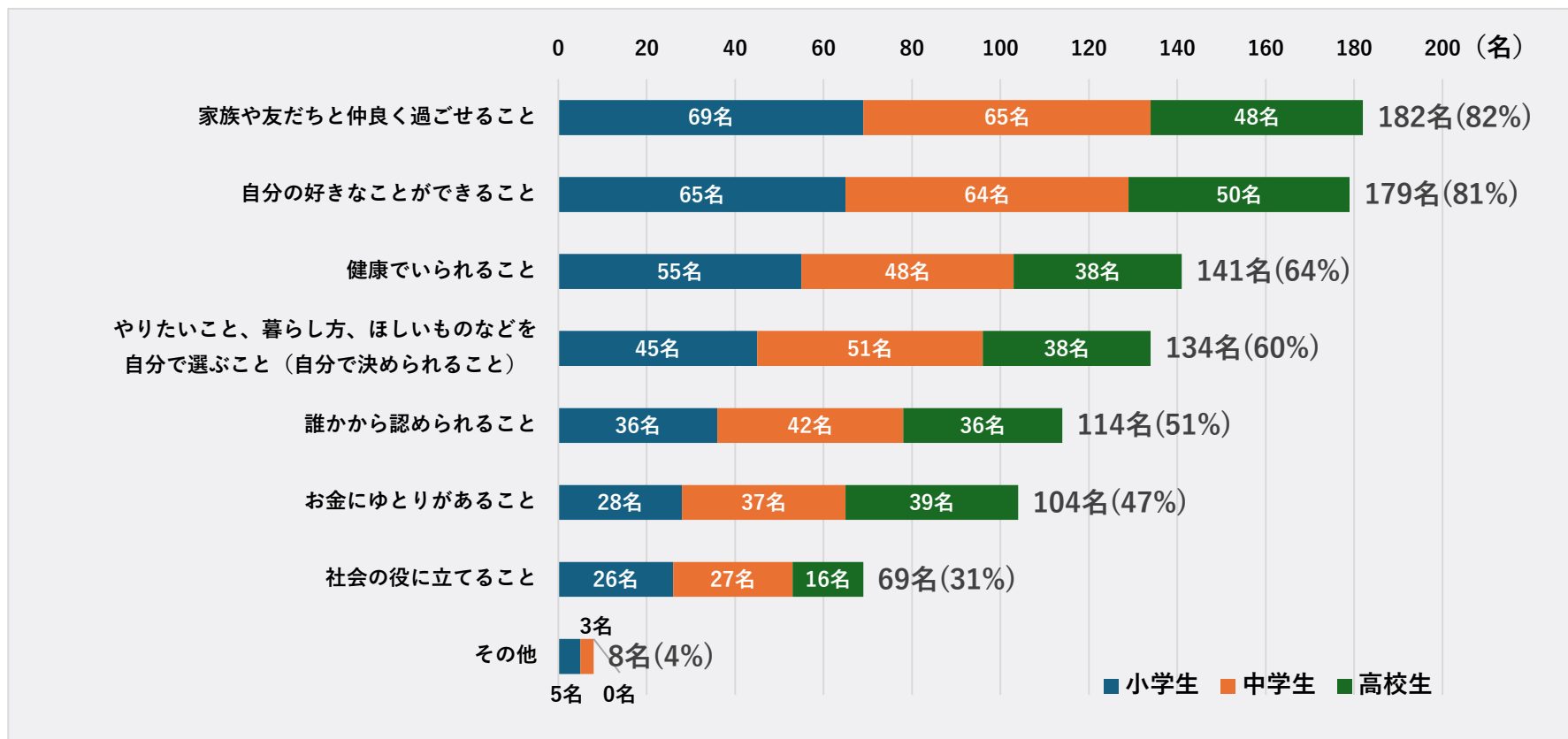
## 2-2.回答者の属性：学年別構成



- ・ 小学5・6年生の回答が比較的多い。
- ・ 一方で、中学生以上では学年が上がるにつれて回答数は減少傾向にあるものの、どの学年からも大きな偏りなく回答を得ることができた。

### 3. 大問1：自分のこと（4問）

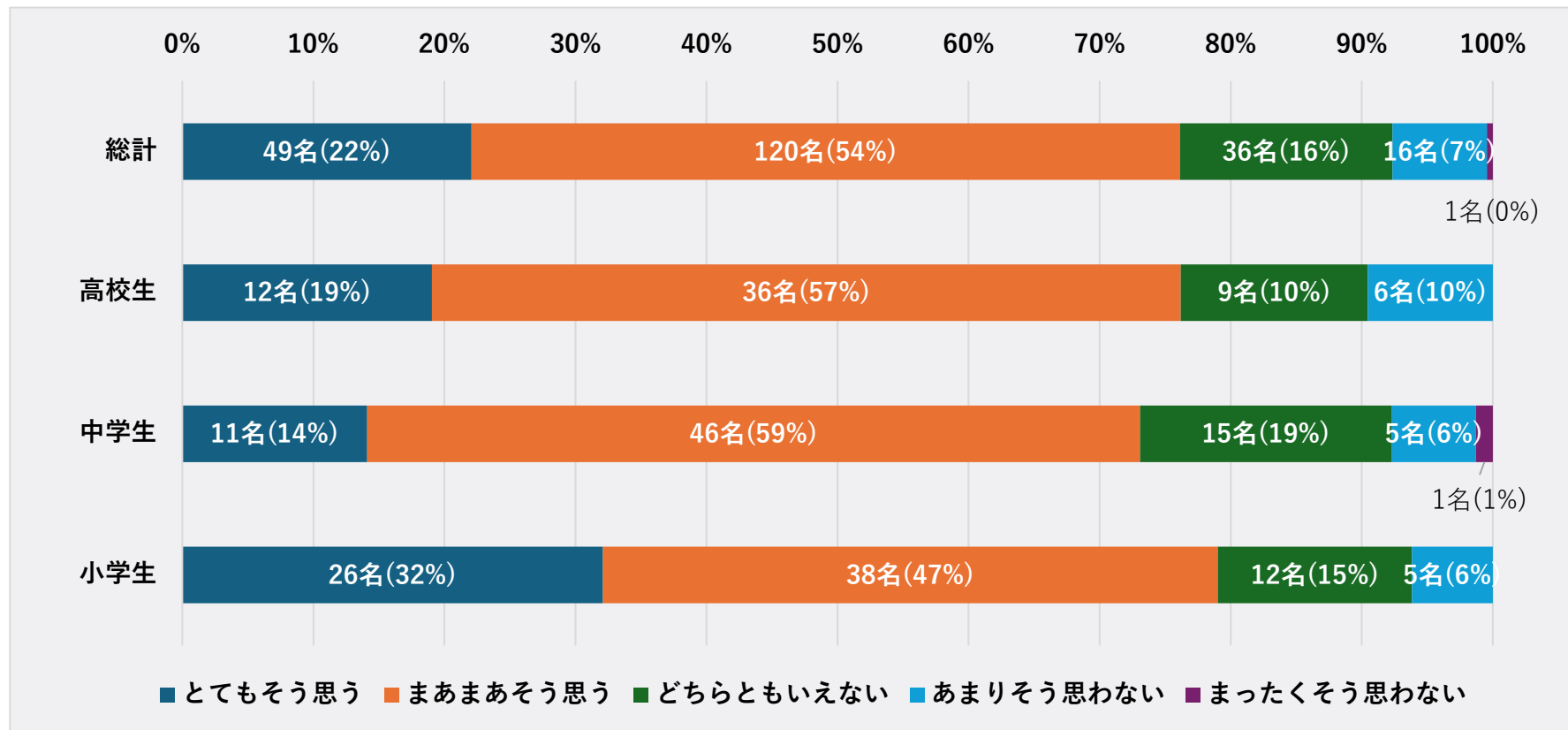
問1-1：自分が幸せを感じるためには、どんなことが大切だと思いますか（複数選択可）



- ・ 総計では「家族や友だちと仲良く過ごせること」が82%で最も多く、次いで「自分の好きなことができること」が81%で続いた。いずれも高校生に比べて小中学生で80%以上と高い割合である。
- ・ 「誰かから認められること」（小学生44%、中学生54%、高校生57%）、「お金のゆとりがあること」（小学生35%、中学生47%、高校生62%）は、学年が上がるとともに上昇している。特に後者で上がり幅が大きい。

### 3. 大問1：自分のこと（4問）

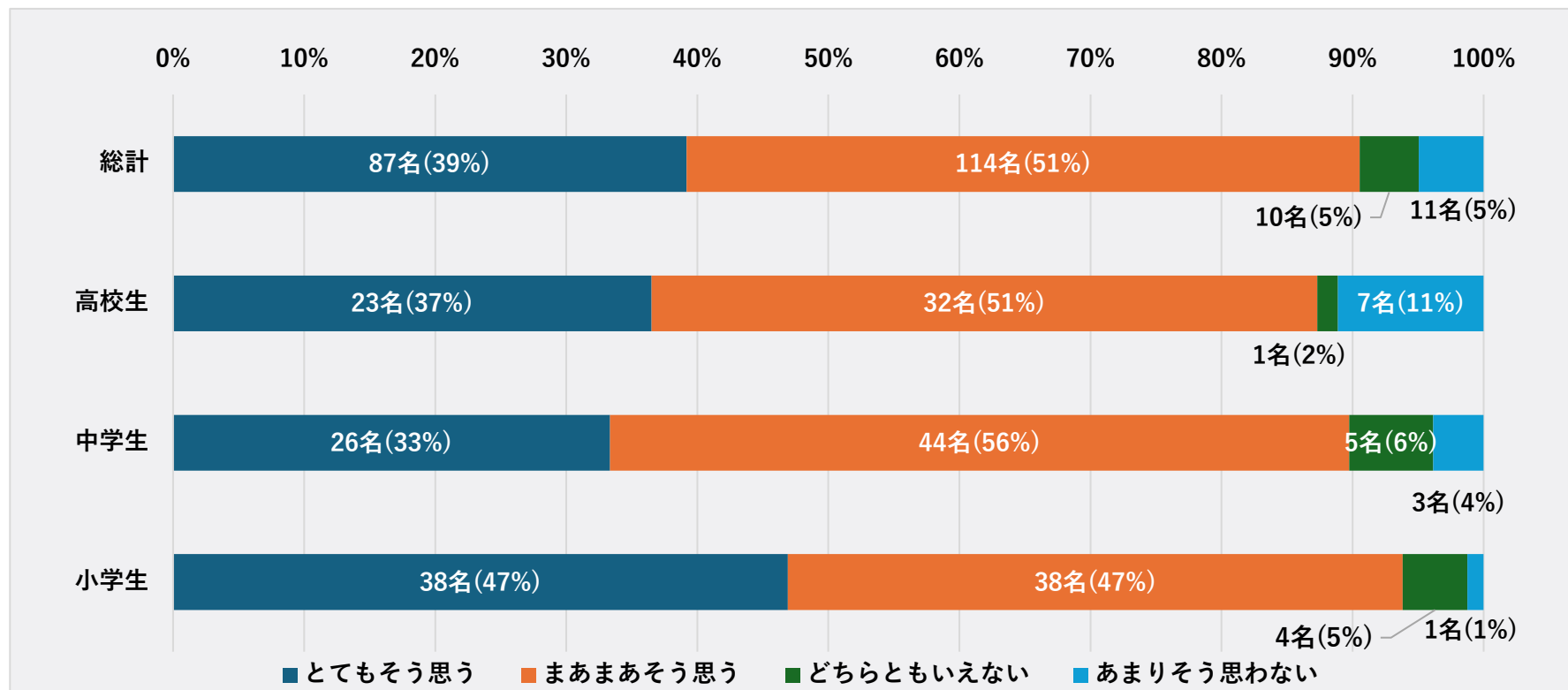
問1-2：自分のことを大切にできていると思いますか（休むときはしっかり休む、いやなことはいやと言える、がんばりすぎないなど）



- ・ 総計では、「とてもそう思う（22%）」「まあまあそう思う（54%）」の合計76%が自分のことを大切にできていると回答している。
- ・ 「とてもそう思う」と回答した割合は、小学生が32%と最も多く、中学生14%、高校生19%と比べて高い。一方、それ以外の選択肢に関しては学年によって大きな差は見られない。

### 3. 大問1：自分のこと（4問）

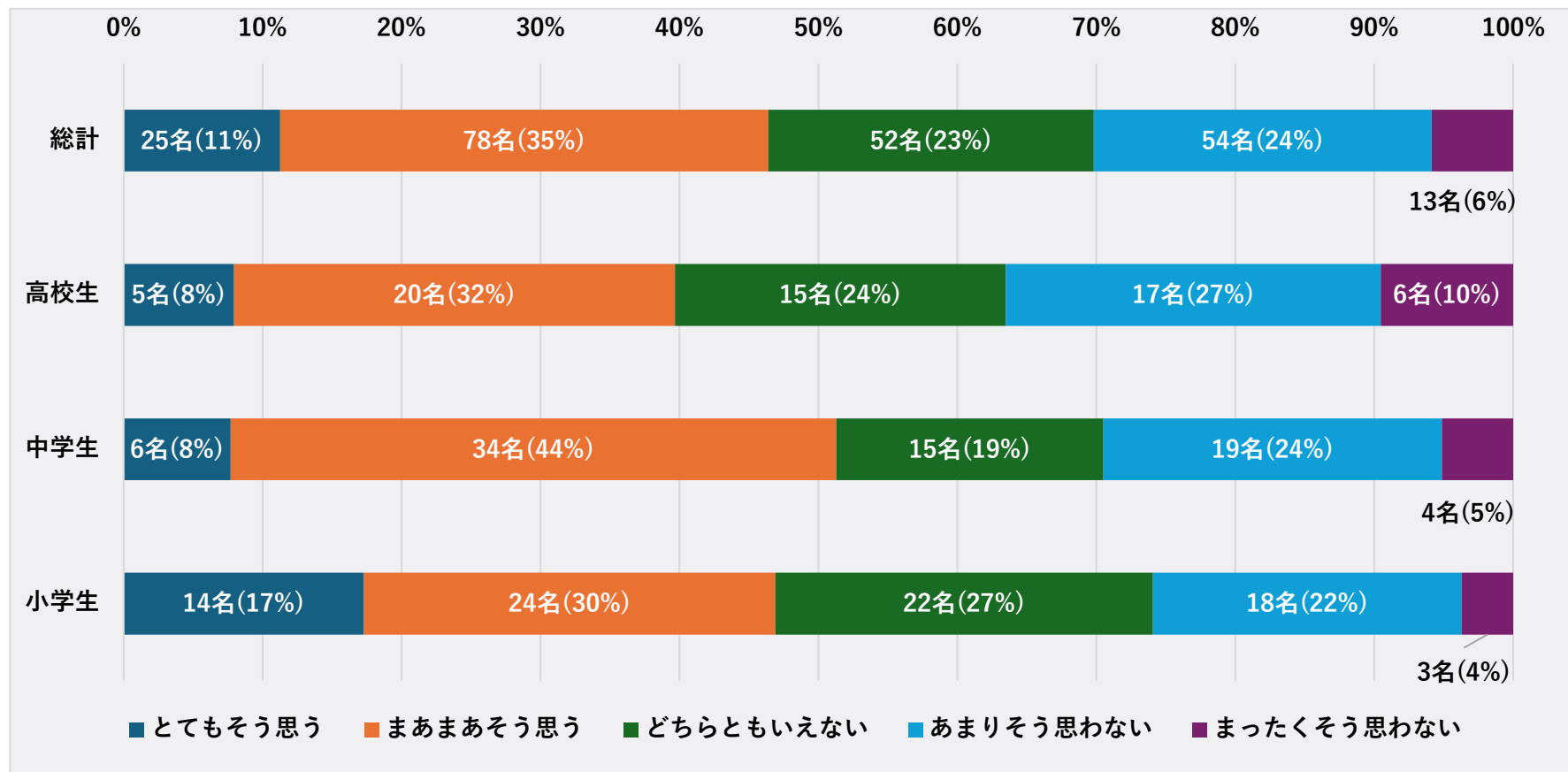
問1-3：自分の得意なことや好きなことを理解していますか



- ・ 総計では、「とてもそう思う（39%）」「まあまあそう思う（51%）」の合計91%が自分の得意なことや好きなことを理解していると回答している。その中でも小学生の割合(94%)が最も高い。
- ・ また、中学生から高校生になると「とてもそう思う」の割合が増加している(中学生33%、高校生37%)のに対して、「あまりそう思わない」の割合も高校生の方が高い(中学生4%、高校生11%)。
- ・ 「まったくそう思わない」という回答はなかった。

### 3. 大問1：自分のこと（4問）

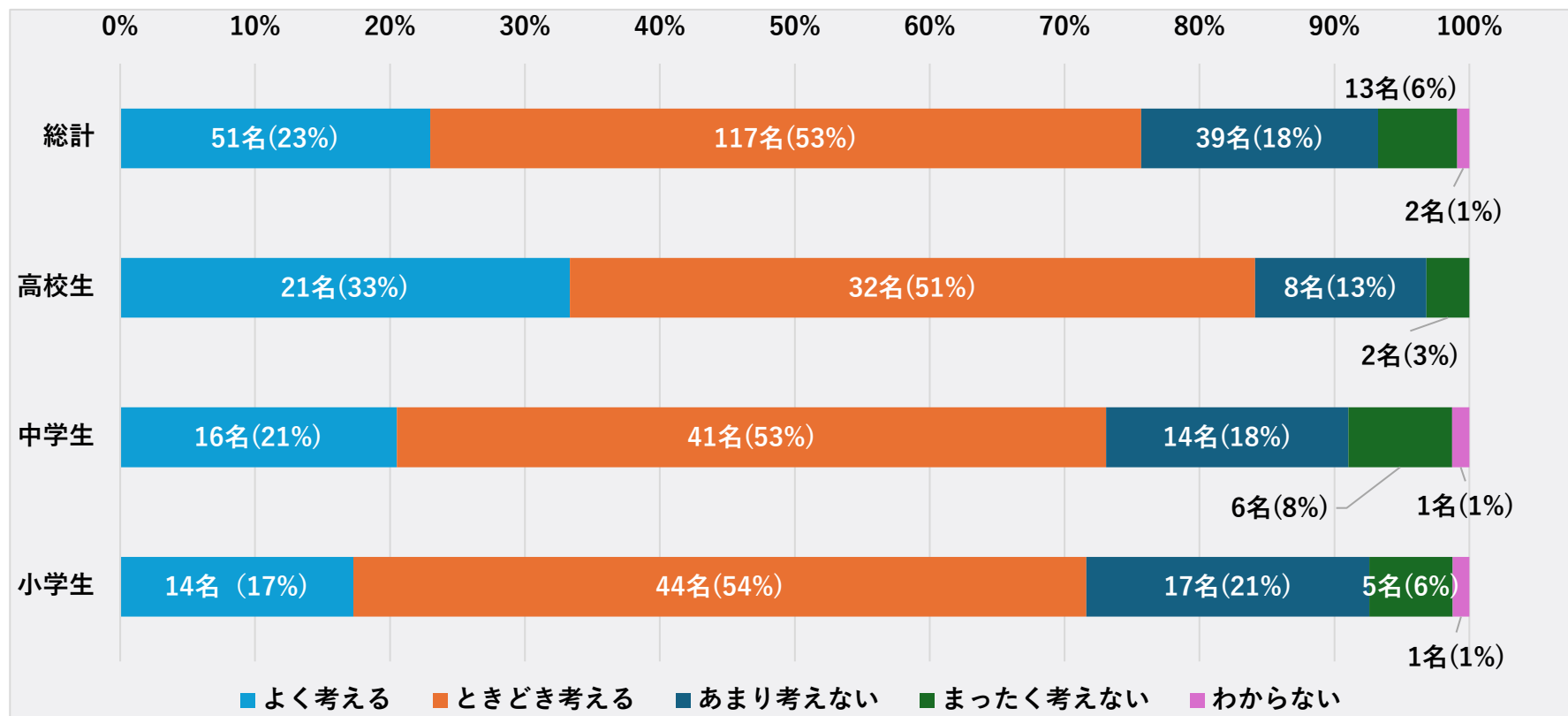
問1-4：自分の考えや気持ちを人に伝えるのは得意ですか



- ・ 総計では、比較的得意と感じる人（「とてもそう思う（11%）」「まあまあそう思う（35%）」）は46%と半数に満たない。学年別にみると、小学生47%、中学生51%、高校生40%であり、高校生の割合が最も低い。
- ・ 一方、比較的苦手と感じる人（「あまりそう思わない（24%）」「まったくそう思わない（6%）」）は学年が上がるにつれ増加している（小学生26%、中学生29%、高校生37%）。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

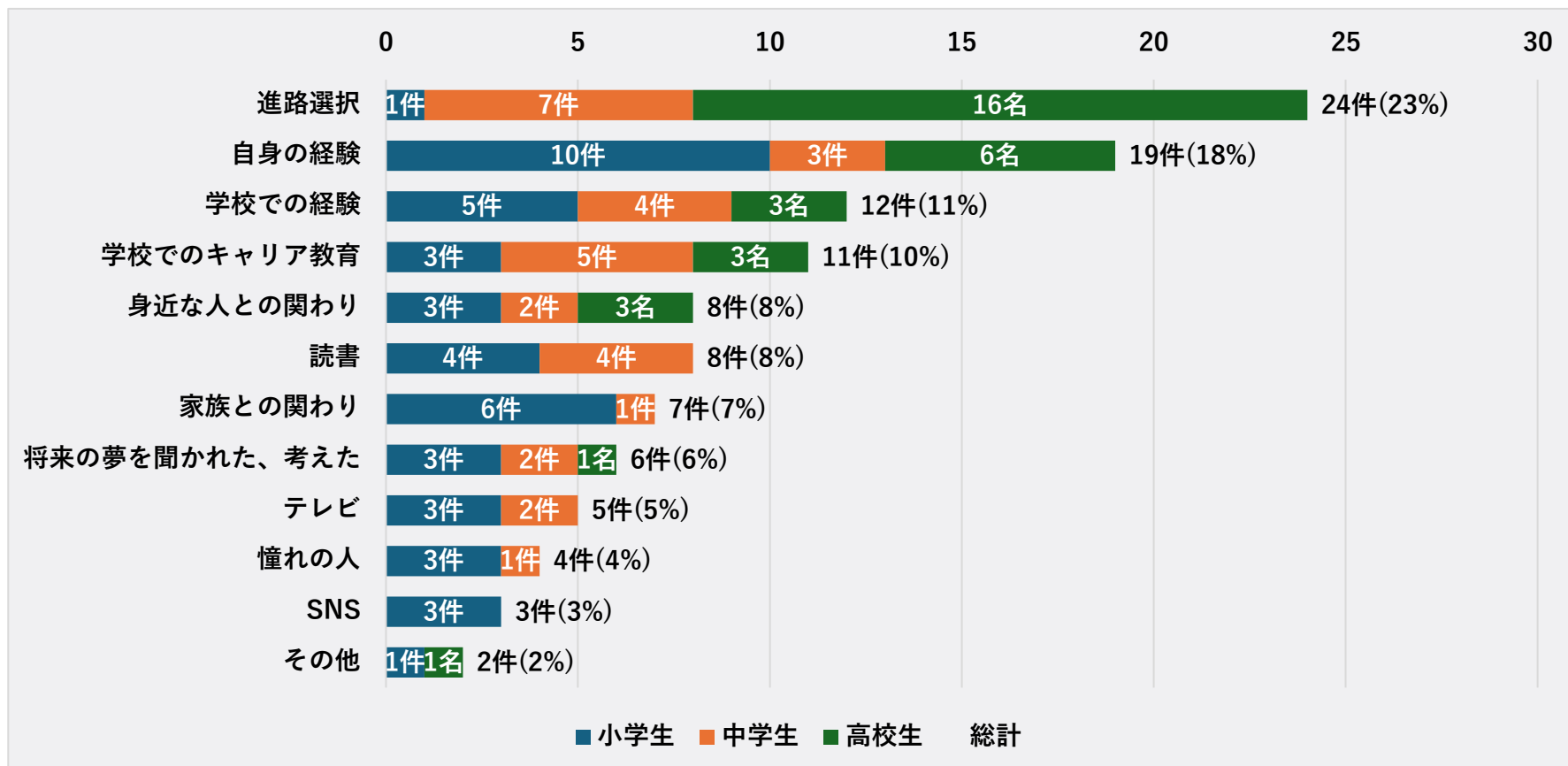
問2-1：将来のこと（どんな仕事をしたいか、どんな生活をしたかなど）を考えたことはありますか



- ・ 総計では、「よく考える（23%）」「ときどき考える（53%）」の合計76%が将来のことを考えたことがあると回答しており、学年別に見てもすべての学年で70%を超えている。
- ・ 特に「よく考える」は、小学生17%、中学生21%、高校生33%と学年が上がるにつれて増加している。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

問2-2①：自分の将来について考えるきっかけになった出来事があれば教えてください（記述・概要）



- ・ 116件が空白や「なし」のため、有効回答数は106件であった。（割合も106を分母として算出）
- ・ 全体では「進路選択（受験、科目選択、大学調べ等）（24件）」が最も多く、次いで「自身の経験（趣味、身近な出来事等）（19件）」が多かった。
- ・ 「進路選択」が中高生、特に高校生で多い。また、「自身の経験」は小学生が最も多い。
- ・ この他、「学校での経験（先生との話等）（12件）」、「学校でのキャリア教育（授業等）（11件）」が続いた。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

### 問2-2②：自分の将来について考えるきっかけになった出来事があれば教えてください（記述原文の一部抜粋）

#### ■進路選択

- 科目選択をしたり、進学する大学を決めたりしなければならなかったこと
- 高校受験の時にあまりにも、辛い思いしたから。もう二度と同じことを繰り返したくないから。
- 受験などの進路選択の時期に強制的に考えるようになった。
- 大学のことを調べているときに、どの大学がいいか考えるようになった

#### ■自身の経験

- サッカーを始めたこと
- 絵を描くのが好きで、好きな事をしながらお金を稼げるのは、楽しそうと思ったから
- 競馬との出会い
- 色々あるけど物事をしていてこれ好きだな 😊 とか得意だな。やってみたって思ったことはある

#### ■学校での経験

- 学校の先生の話
- 自分の去年の教科担任の先生と話したこと
- 卒業文集の制作で、将来の夢を書くことになったから。

#### ■学校でのキャリア教育

- 学校で将来についての授業をしたことがきっかけです。
- 学校に色々な仕事をしている会社の人たちが来て、どんな仕事をしているのか話を聞いたり、実験のようなことを実際にして見せてくれたりして楽しかった。
- 学校の探求の授業

#### ■身近な人との関わり

- ある人が一度きりの人生後悔しないように生きて欲しいと言っていてそこから今何をすれば将来後悔しないかなど将来について考えるようになった
- 兄弟や友人の大学進学や、大学卒業

#### ■読書

- 本を読み終わった時。
- 仕事についての本を読んだこと（理系の職場、みたいな）

#### ■家族との関わり

- お母さんとお菓子作りをしたときによろこんでもらえたこと
- 親に聞かれた

#### ■将来の夢を聞かれた、考えた

- よく、将来の夢を聞かれるから
- これからどうやって進学して、どうやって社会人になれば、うまく大人として生きていけるのかちょっとした時に考えたことがきっかけ。

#### ■テレビ

- テレビなどで紹介されていたから
- ニュースなどで環境汚染の問題を見たりして、自然が壊れないようにしたいと思った。

#### ■憧れの人

- 長野コレクションに参加して美容師さんにお世話になったこと
- 憧れの人がいた事。

#### ■SNS

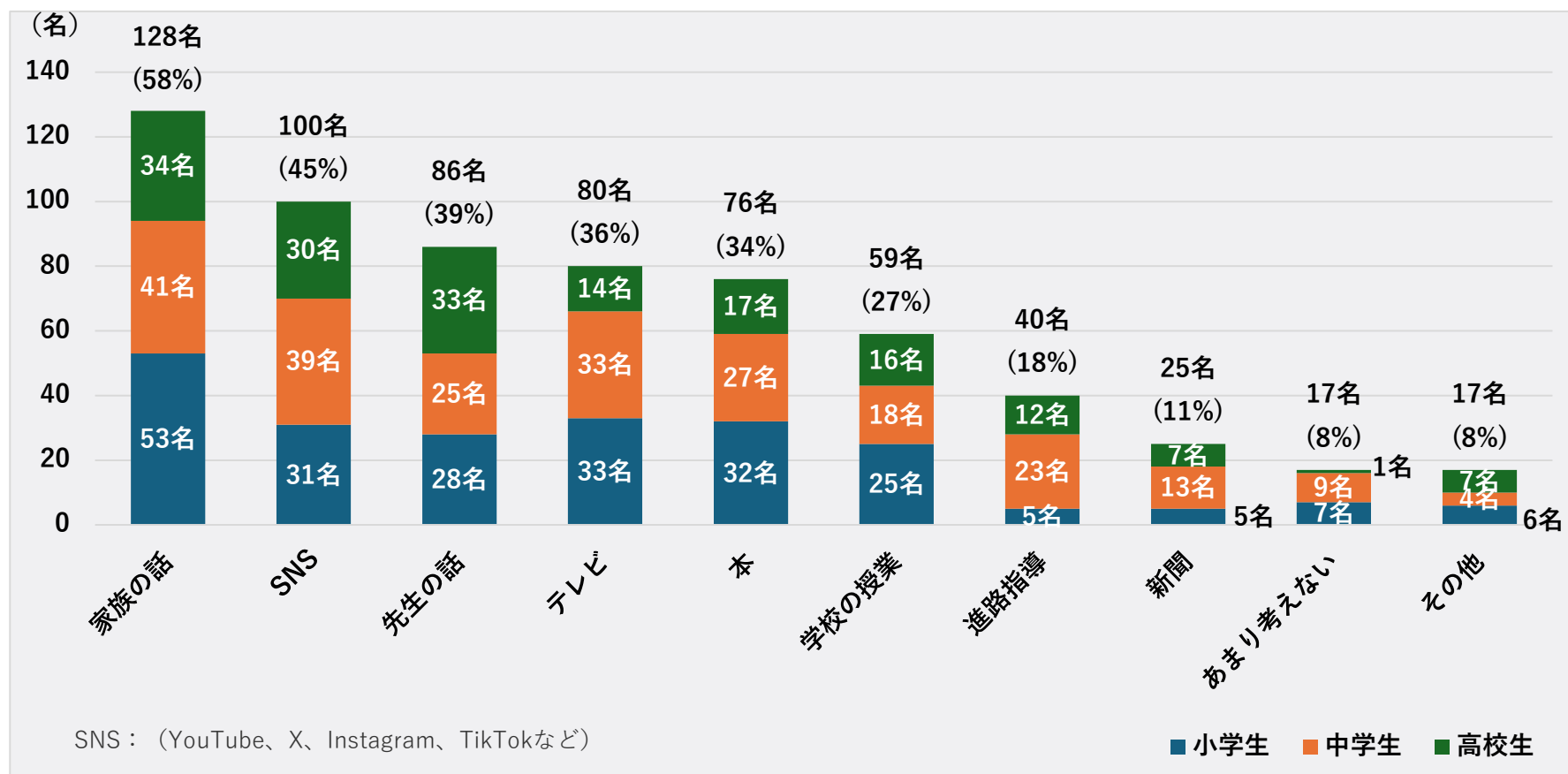
- YouTubeのショート動画でアニメの新情報が、一般よりも、すぐに分かるし社割りとかあるから

#### ■その他

- 大学でやりたい事がないかも
- 特にないです

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

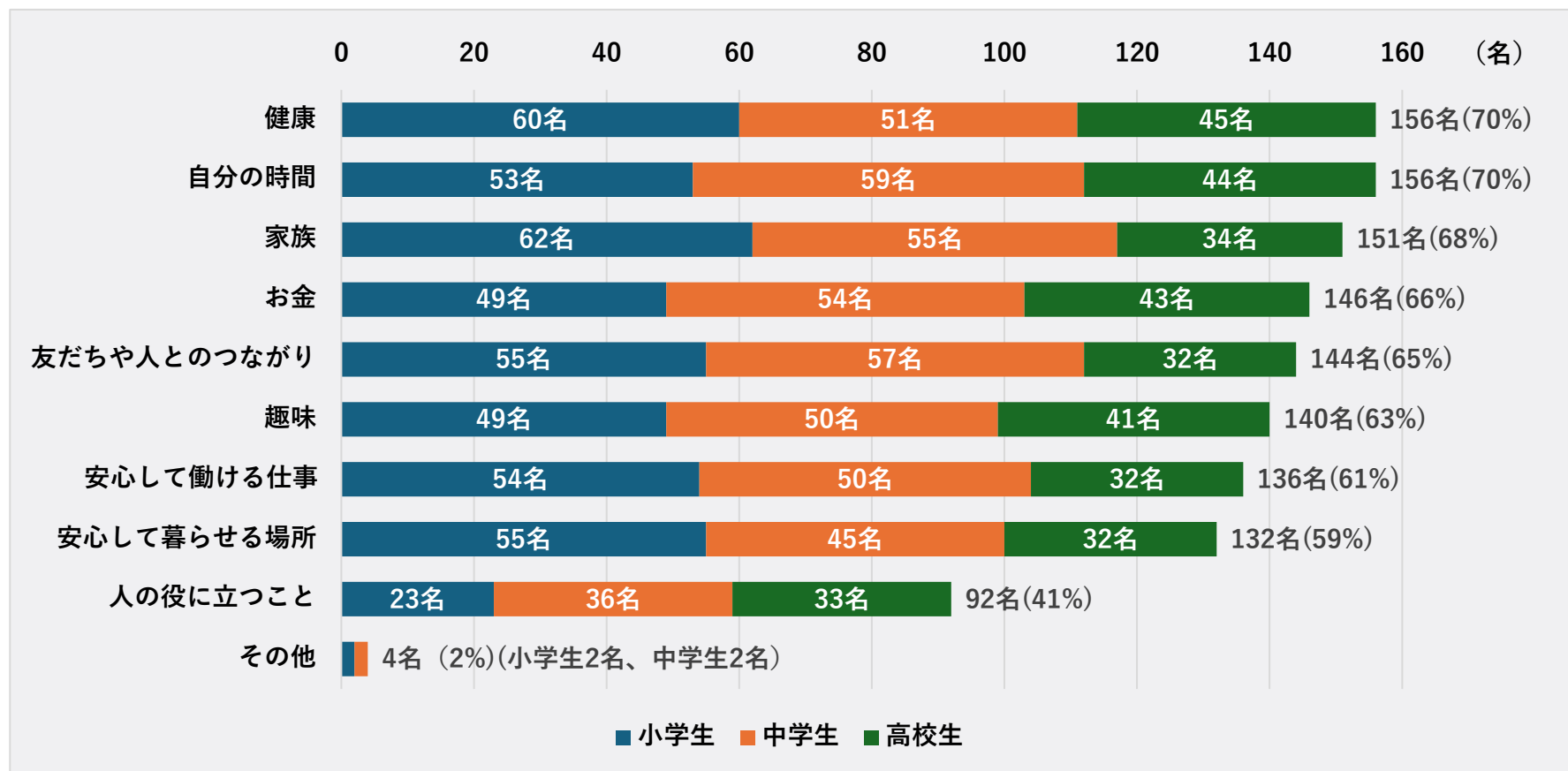
問2-3：将来のことを考えるとき、どんな情報を参考にしていますか（複数選択可）



- ・ 総計では、「家族の話」が128名（58%）で最も多く、学年別でも最も多かった。
- ・ 次いで「SNS（YouTube、X、Instagram、TikTokなど）」100名(45%)で、「先生の話」86名（39%）や「テレビ」80名（36%）を上回った。
- ・ その他には、「趣味が共通する大人の人」、「知り合いの人の話」、「志望校の進路状況」、「自分でインターネットで調べる」、「何も参考にしていない」などがあつた。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

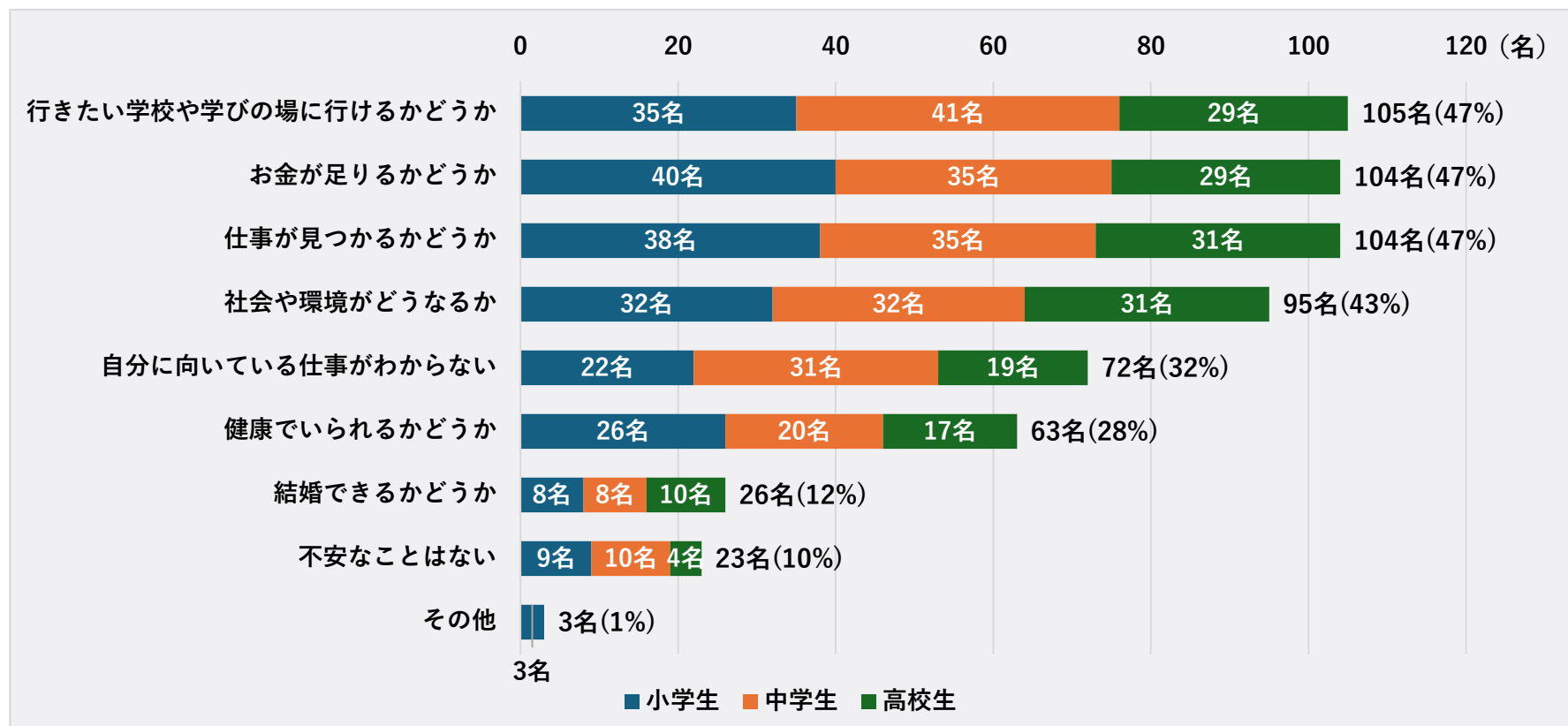
問2-4：将来の生活で大切にしたいことは何ですか（複数選択可）



- 「健康（156名）」「自分の時間（156名）」が70%を超えて最も多く、2%の差で「家族（151名）」が続いたが、8位の「安心して暮らせる場所(59%)」までを見ても上位との差は約20件、10%ほどにとどまっており、特に抜きん出た回答はない。
- 「家族（151名）」は小学生が76.5%、中学生が70.5%に対して、高校生は54.0%と大きく下がっている。また、「友だちや人とのつながり（144名）」も小学生が67.9%、中学生が73.1%なのに対して高校生は50.8%と大きく下がっている。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

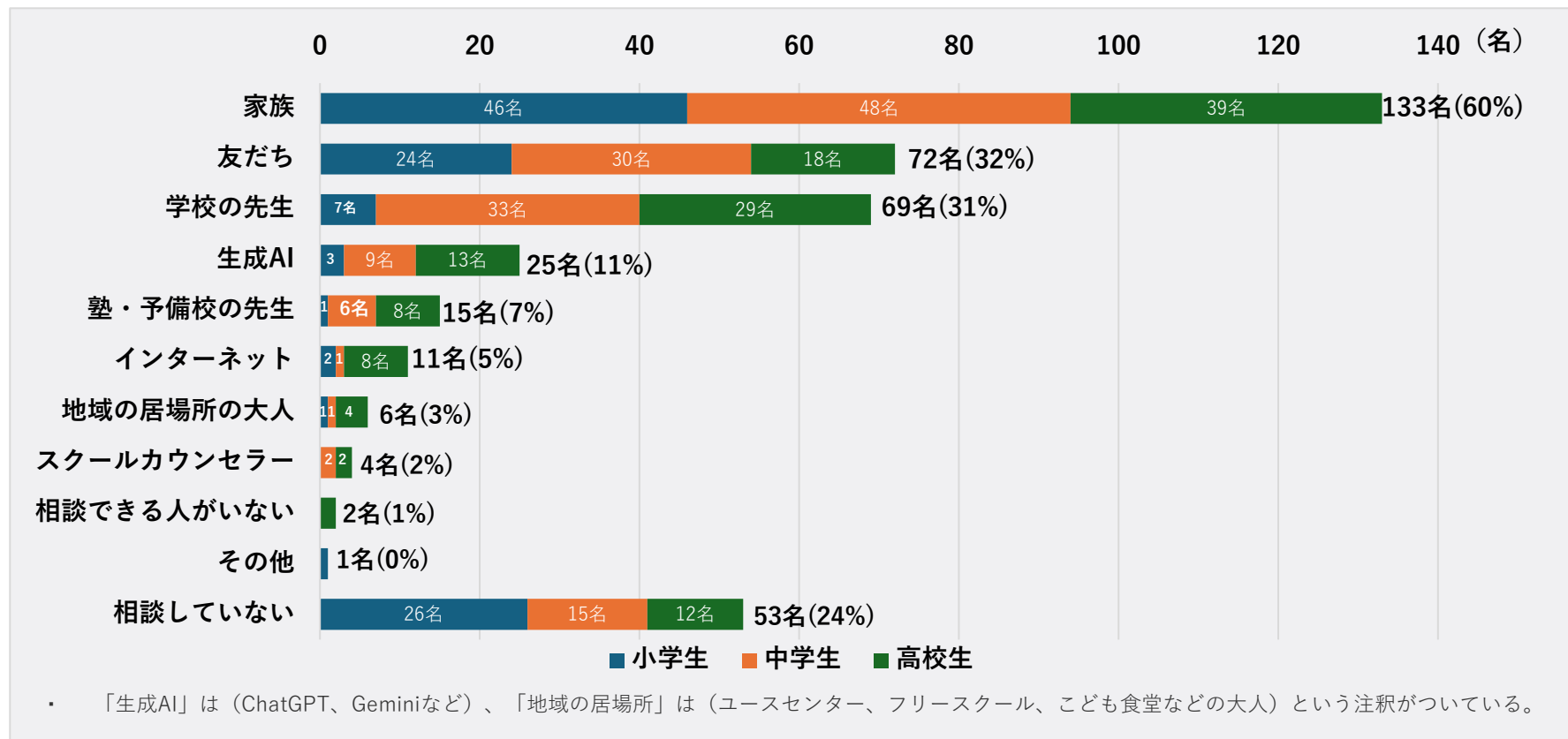
問2-5：将来について不安に思っていることがあれば教えてください（複数選択可）



- 「行きたい学校や学びの場に行けるかどうか（105名）」が47.3%で最も多く、次いで「お金が足りるかどうか（104名）」（46.8%）と「仕事が見つかるかどうか（104名）」（46.8%）が多かった。学年ごとの回答人数に大きなばらつきは見られない。
- 学年の差は小さいが、「行きたい学校や学びの場に行けるかどうか」は中学生（52.6%）が最も割合が高かった。
- その他には、「絵が売れるか」「趣味を楽しむ時間をとれるか」「人工知能（AI）により仕事が奪われていかないかどうか」があった。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

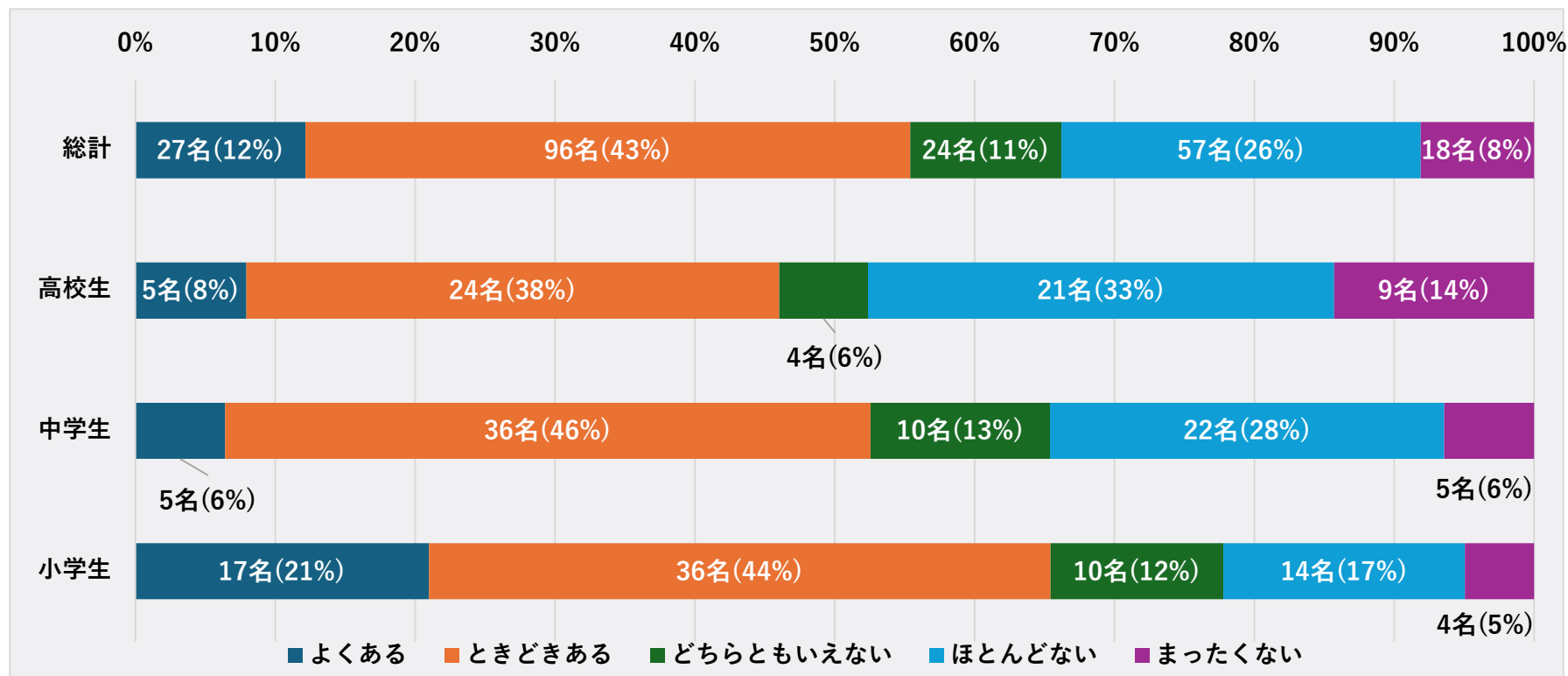
問2-6：自分の進路（将来やりたいことや、行きたい学校・仕事など）について、どこかに相談していますか（複数選択可）



- ・ 総計では、「家族（133名）」が60%で最も多く、次いで「友だち（72名）」（32%）、「学校の先生（69名）」（31%）が続いた。
- ・ 「学校の先生」は中高生の割合が高い。（小学生8.6%、中学生42.3%、高校生46.0%）
- ・ その他は「わからない」という回答であった。
- ・ 「近所・自治体の人」は回答がなかった。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

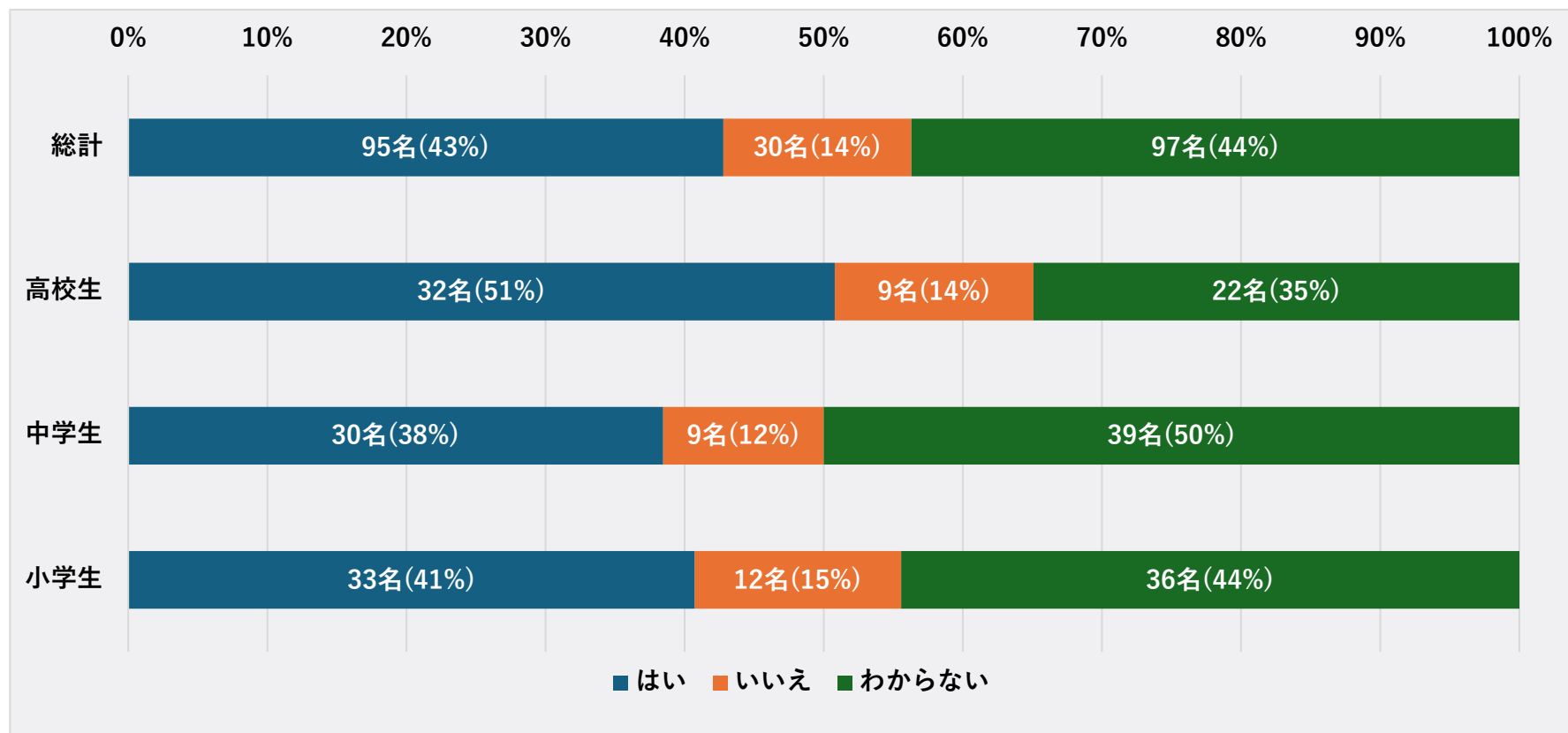
問2-7：近くに住んでいる人（近所の人、お店の人、地域のイベントで会う人など）と話したり、一緒に活動したりすることはありますか



- ・ 総計では、「よくある（12%）」「ときどきある（43%）」の合計55%が近くに住んでいる人と話したり、一緒に活動する機会があると回答した。
- ・ 「よくある」「ときどきある」は、小学生が65%、中学生が53%、高校生が46%と、学年が上がるとともに低下した。
- ・ 一方、「ほとんどない」「まったくない」は、小学生が22%、中学生が34%、高校生が47%と学年が上がるとともに上昇した。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

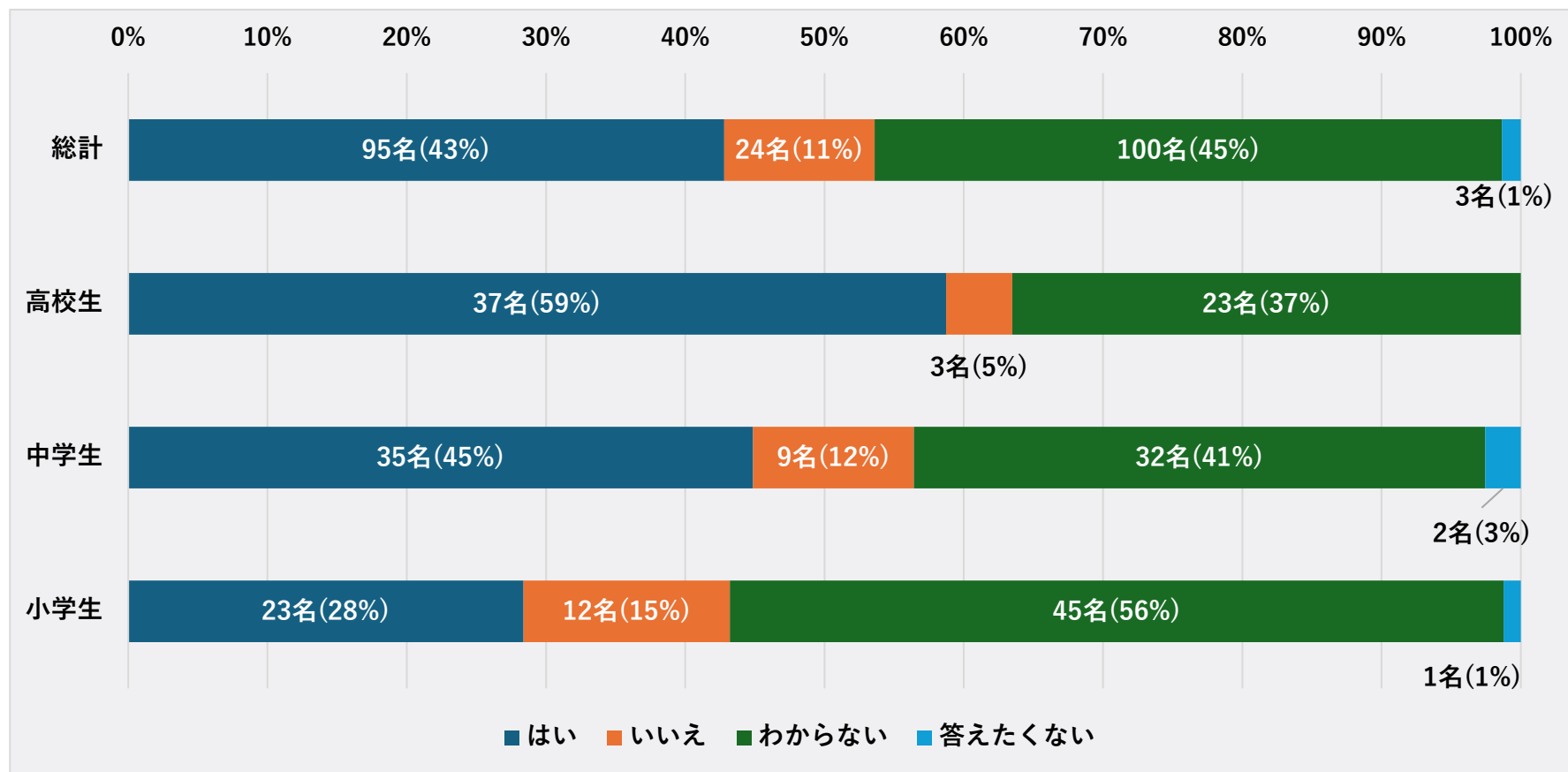
問2-8：将来、地域社会（住んでいる地域の人たちや、地域の活動など）に関わりたいと思いますか



- ・ 総計では、「はい」が43%、「いいえ」が14%、最も多いのは「分からない」の44%だった。
- ・ 「はい」は小学生41%、中学生38%、高校生が51%で高校生が最も多い一方、「わからない」は小学生44%、中学生50%、高校生が35%と高校生が最も低い。
- ・ 「いいえ」の割合は学年によってあまり大きな差がなかった。（小学生15%、中学生12%、高校生14%）

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

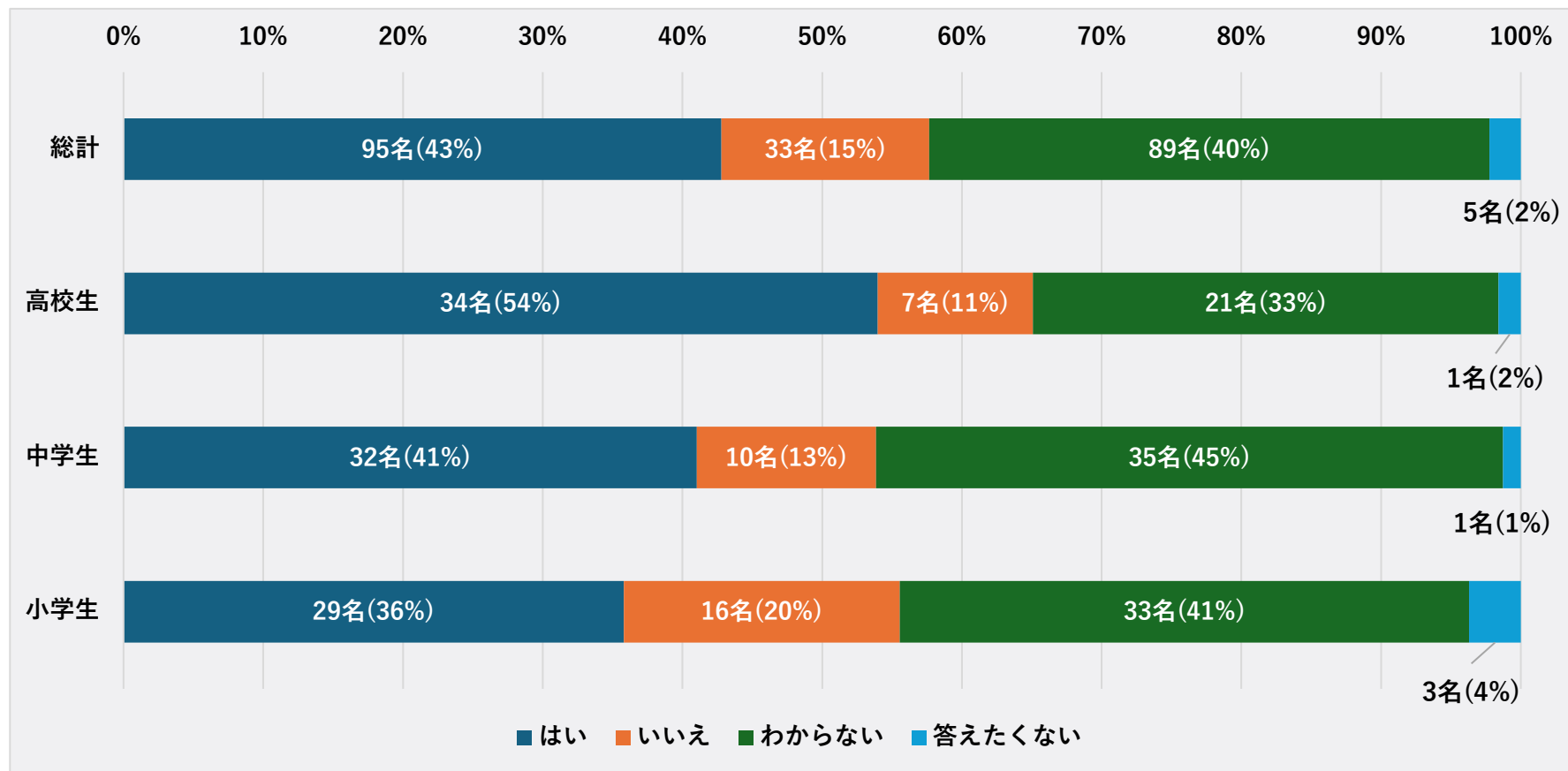
### 問2-9：将来、結婚したいと思いますか



- ・ 総計では、「はい」が43%、「いいえ」が11%、「わからない」が45%だった。
- ・ 「はい」は、小学生が28%、中学生が45%、高校生が59%と、学年が上がるにつれて割合が増加し、「いいえ」（小学生15%、中学生12%、高校生5%）、「わからない」（小学生56%、中学生41%、高校生37%）で学年が上がるにつれて低下した。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

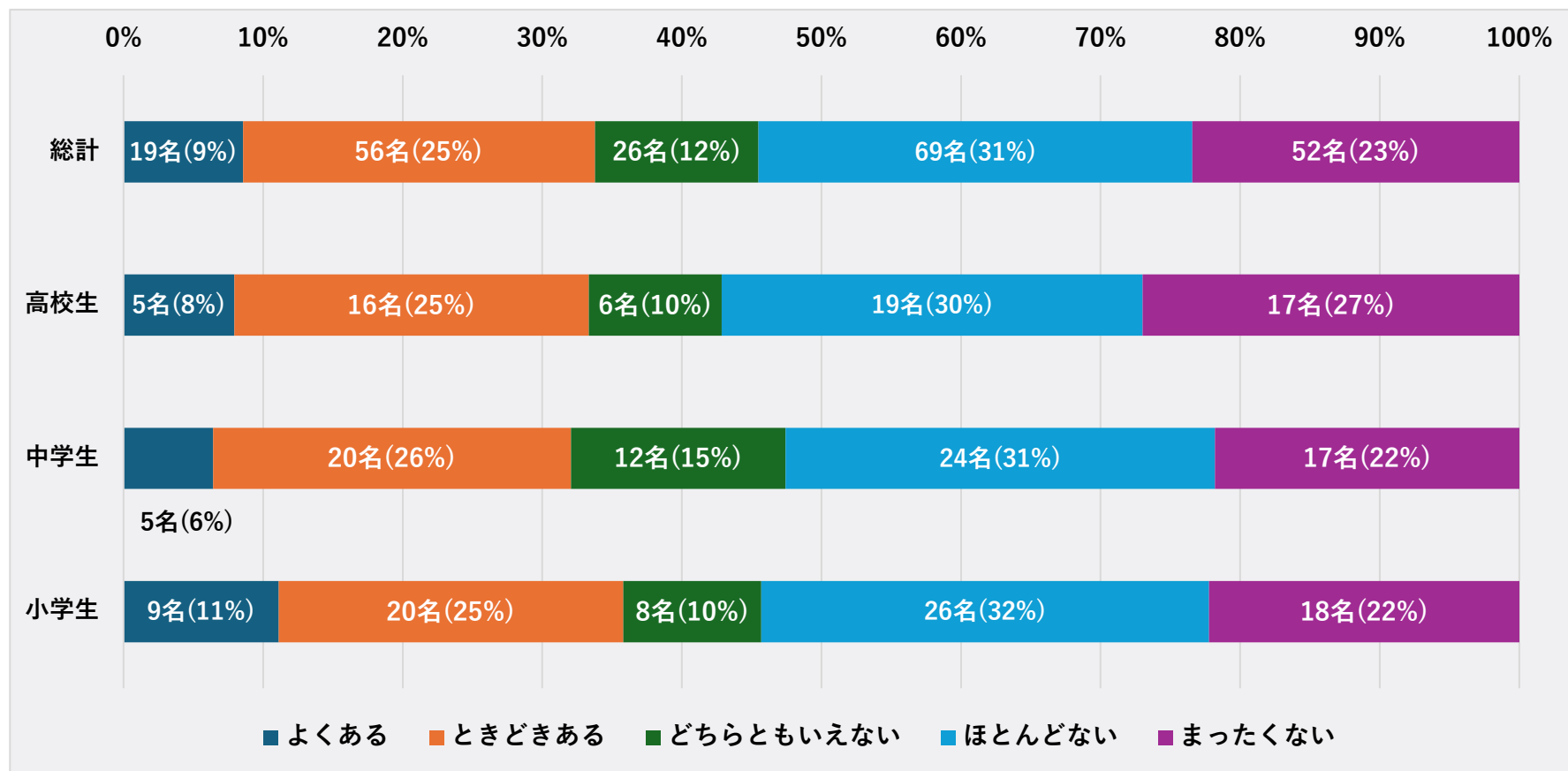
### 問2-10：将来、子どもを持ちたいと思いますか



- ・ 総計では、「はい」が43%、「いいえ」が15%、「わからない」が40%だった。
- ・ 「はい」が学年が上がるにつれて割合が増加し（小学生36%、中学生41%、高校生54%）、一方で、「いいえ」は学年が上がるにつれて割合が低下している（小学生20%、中学生13%、高校生11%）。

## 4. 大問2：将来のこと（11問）

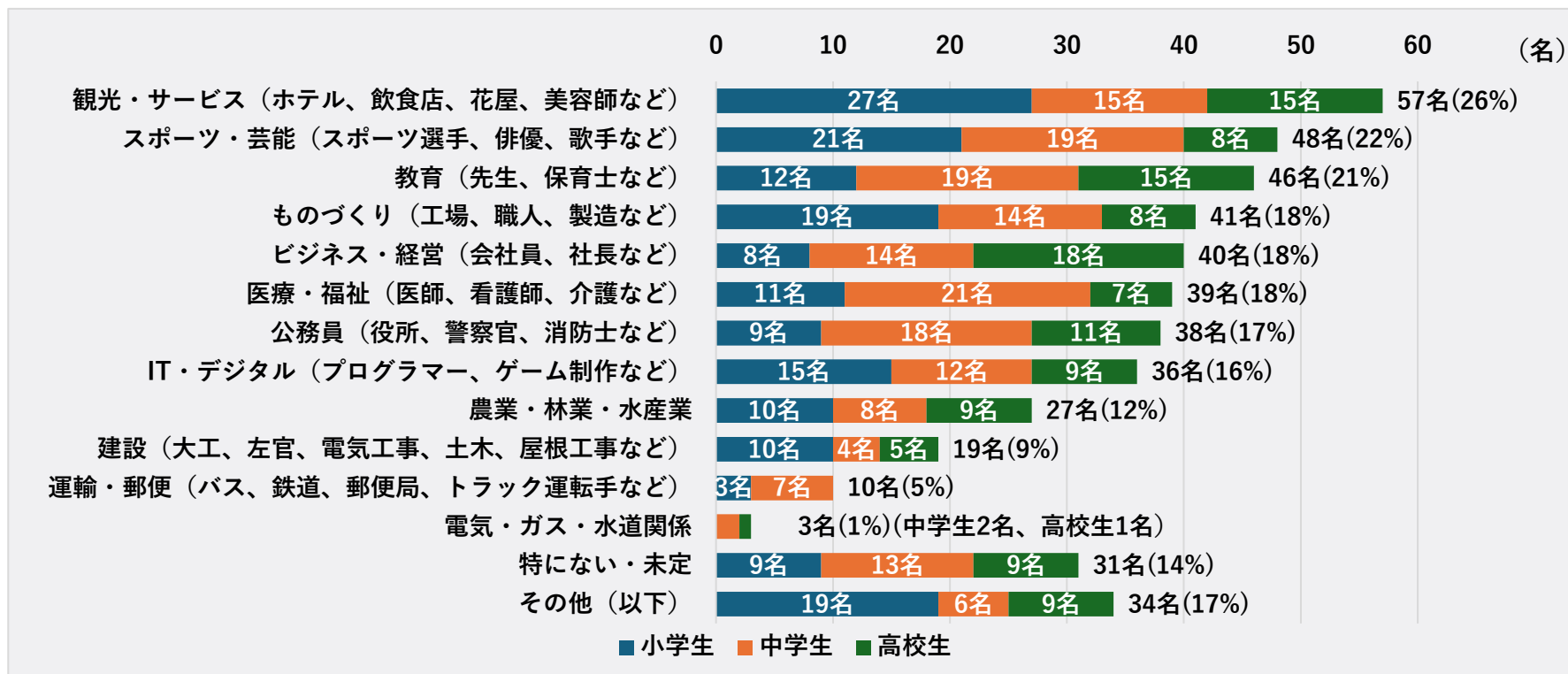
問2-11：赤ちゃんとのふれあうこと（家族、親せき、保育体験、地域イベントなど）はありますか



- ・ 総計では、「よくある」が9%、「ときどきある」が25%の合計34%が、赤ちゃんとのふれあうことがある一方、「ほとんどない（31%）」「まったくない（23%）」の合計は55%であった。
- ・ 学年によって割合に大きな差は見られない。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

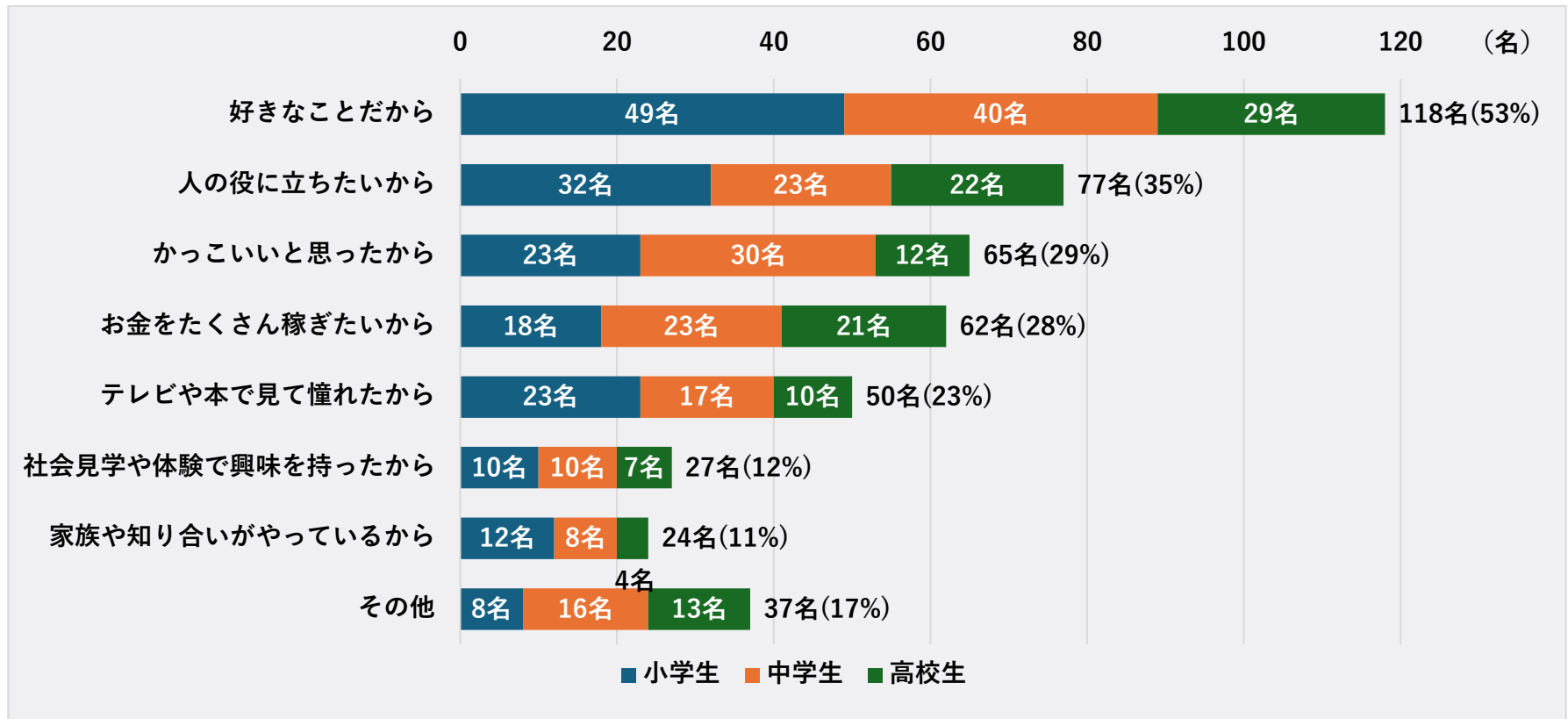
### 問3-1：将来、どんな仕事をしてみたいと思いますか（複数回答可）



- ・ 「観光・サービス（ホテル、飲食店、花屋、美容師など）（57名）」が26%で最も多く、次いで「スポーツ・芸能（スポーツ選手、俳優、歌手など）（48名）」が22%で多かった。いずれも小学生が多く回答していた（小学生：「観光・サービス」33%、「スポーツ・芸能」26%）。
- ・ 「ビジネス・経営（会社員、社長など）」は小学生10%、中学生18%、高校生29%と学年が上がるにつれて増加している。
- ・ その他には、「イラスト・芸術系（アニメーター、イラストレーター、漫画家等）」「研究者・学芸員」「法律家・会計士」「食品系」「Youtuber」「理系士業（管理栄養士・気象予報士）」「動物系（競馬実況者・動物を助ける）」「他（小説家、多言語を扱う仕事、着ぐるみの中、投資、発明家、未回答）」があった。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

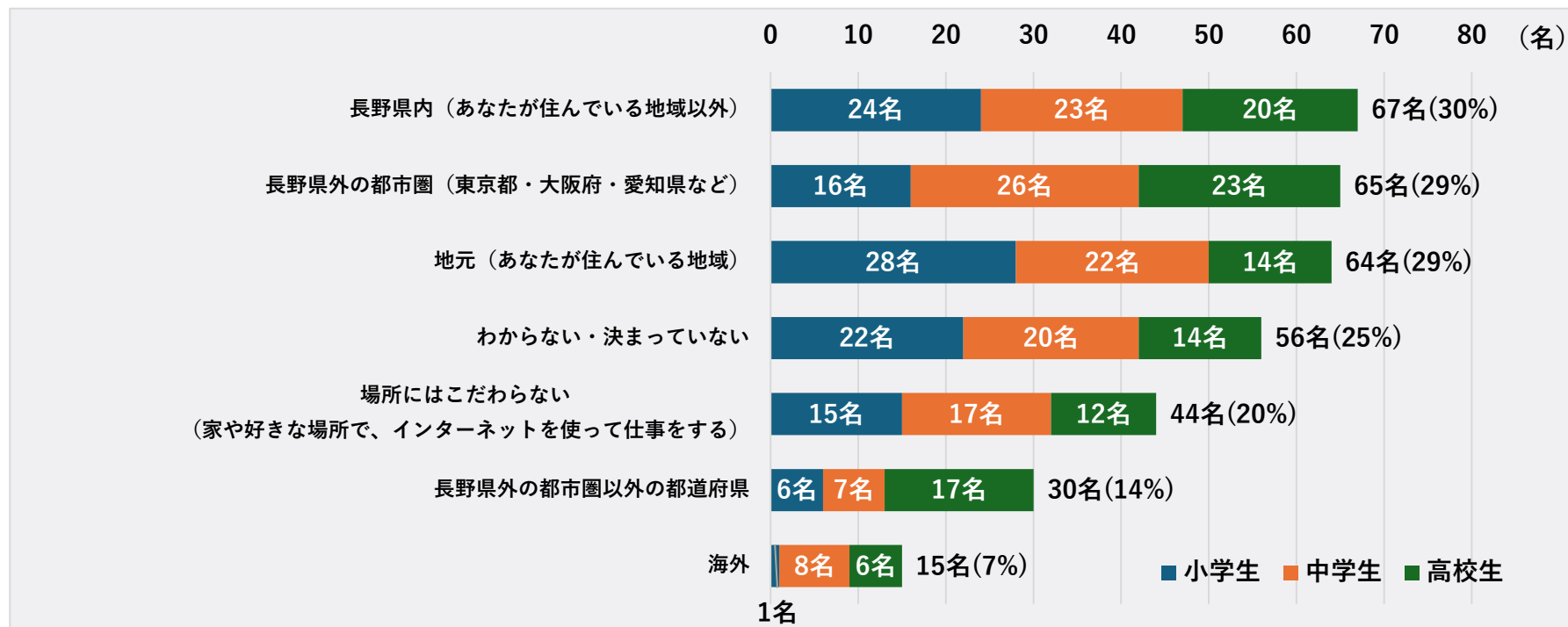
問3-2：その仕事をしたいと思った理由やきっかけは何ですか（複数選択可）



- ・ 「好きなことだから（118名）」が53%で最も多く、特に小学生が高い（60%）。
- ・ 次いで「人の役に立ちたいから（77名）」（35%）、「かっこいいと思ったから（65名）」（29%）、「お金をたくさん稼ぎたいから（62名）」（28%）が続いた。
- ・ その他は、「具体的にその職業をやってみたい理由」がある人が11名、「未定」や「なし」とした人が10名、「楽しそう・面白そう」「憧れ」とした人が各2名、「なんとなく」が1名だった。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

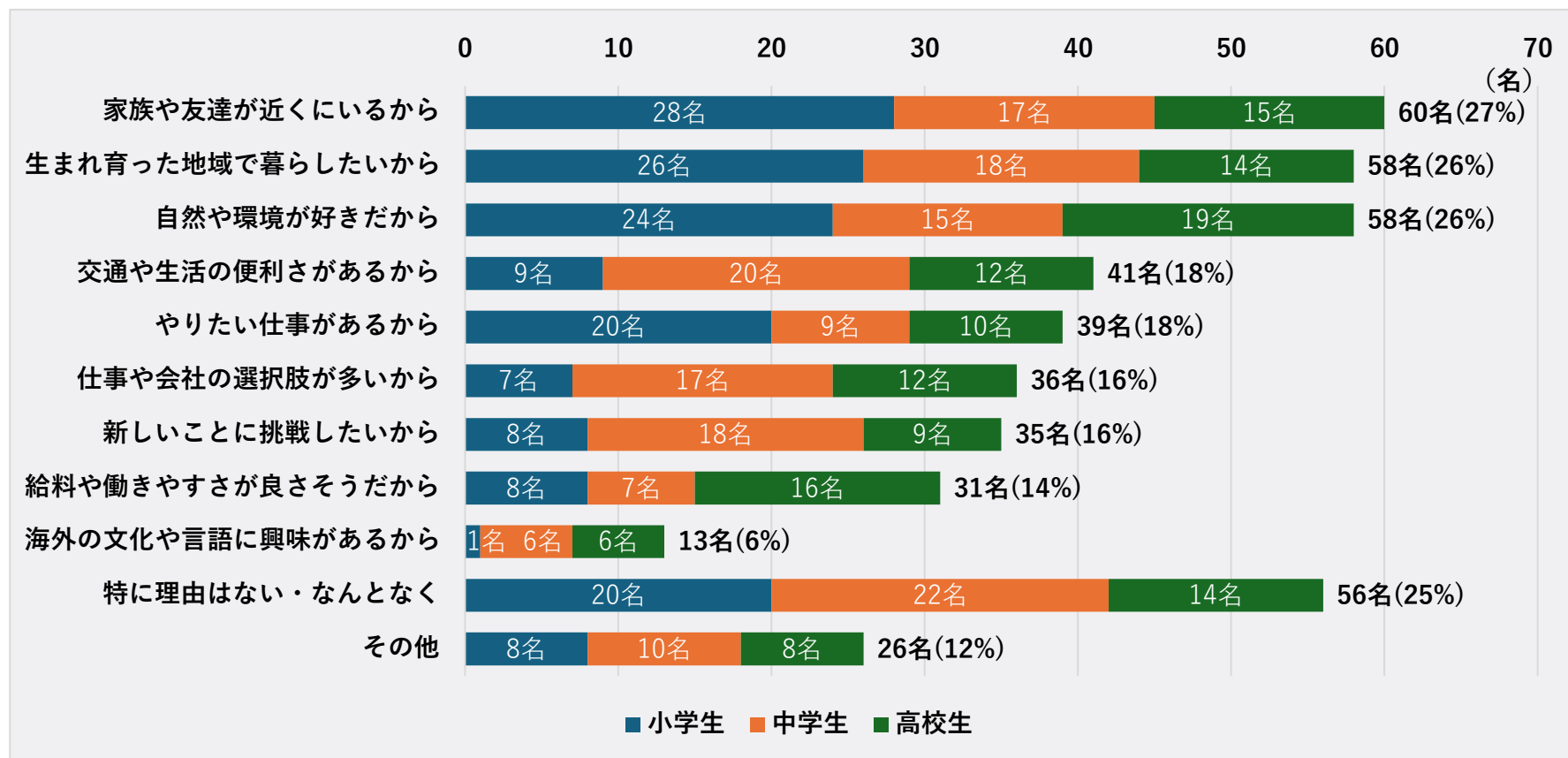
### 問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか（複数選択可）



- ・ 「長野県内（あなたが住んでいる地域以外）」が67名（30%）と最も多く、次いで「長野県外の都市圏（東京都・大阪府・愛知県など）」が65名（29%）で続いた。
- ・ 県内志向（「長野県内（あなたが住んでいる地域以外）（67名）」と「地元（あなたが住んでいる地域）（64名）」）は、小学生49%、中学生46%、高校生31%と学年が上がるにつれて低下した。
- ・ 県外志向（「長野県外の都市圏（東京都・大阪府・愛知県など）（65名）」「長野県外の都市圏以外の都道府県（30名）」）は小学生27%、中学生40%、高校生51%と学年が上がるにつれて増加した。
- ・ その他、「わからない・決まっていない」「場所にはこだわらない（家や好きな場所でインターネットを使って仕事をする）」「海外」も一定割合を占める。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

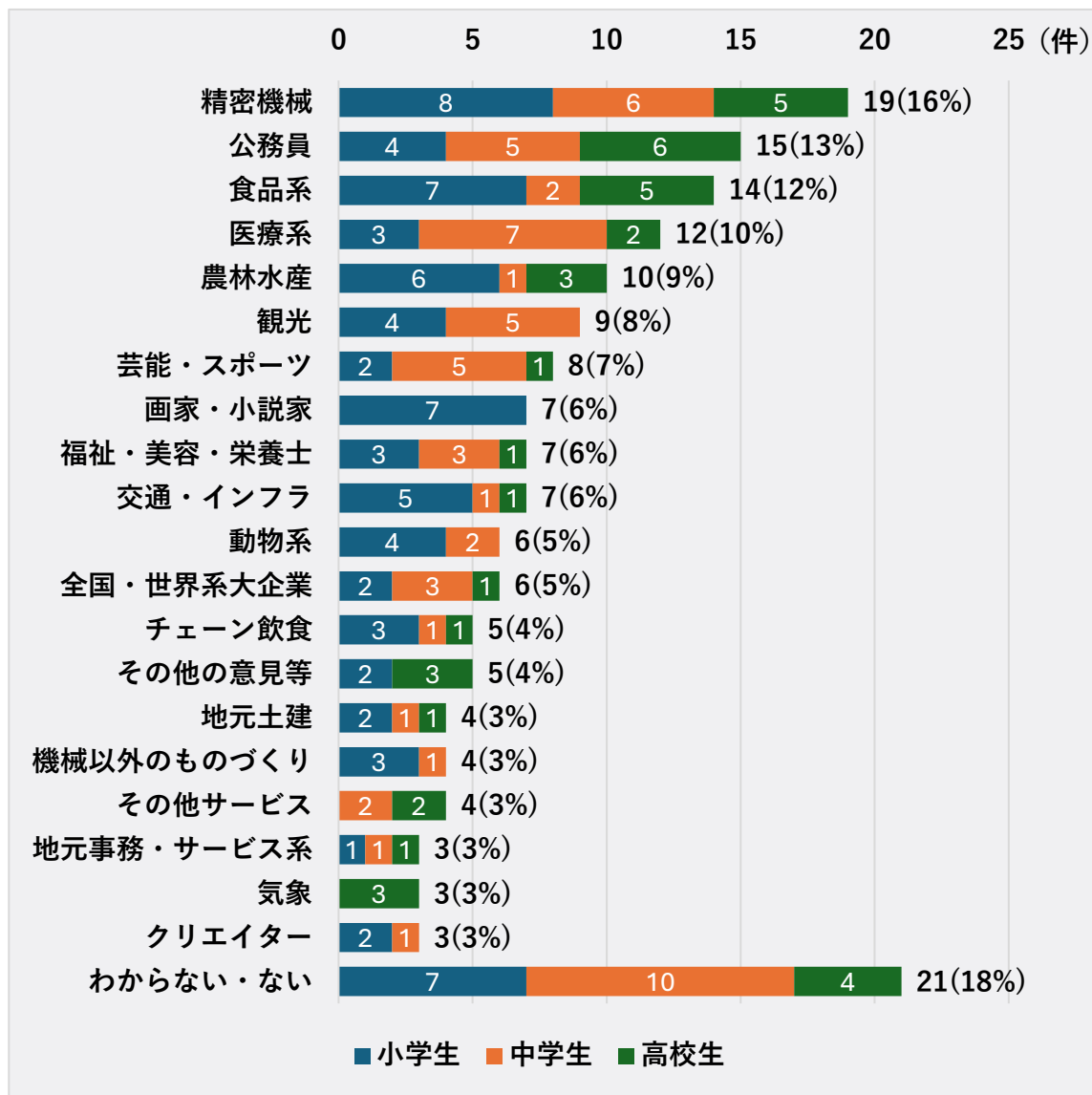
問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）



- 「家族や友達が近くにいるから（60名）」（27%）、「生まれ育った地域で暮らしたいから（58名）」（26%）、「自然や環境が好きだから（58名）」（26%）が上位を占め、いずれも小学生が最も多い。
- 一方、総計では8番目となる「給料や働きやすさが良さそうだから（31名）」（14%）が高校生では16件と2番目に多くなっている。
- その他には、「近いから」「就きたい会社はそんなに好きないところがないから」などがあつた。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

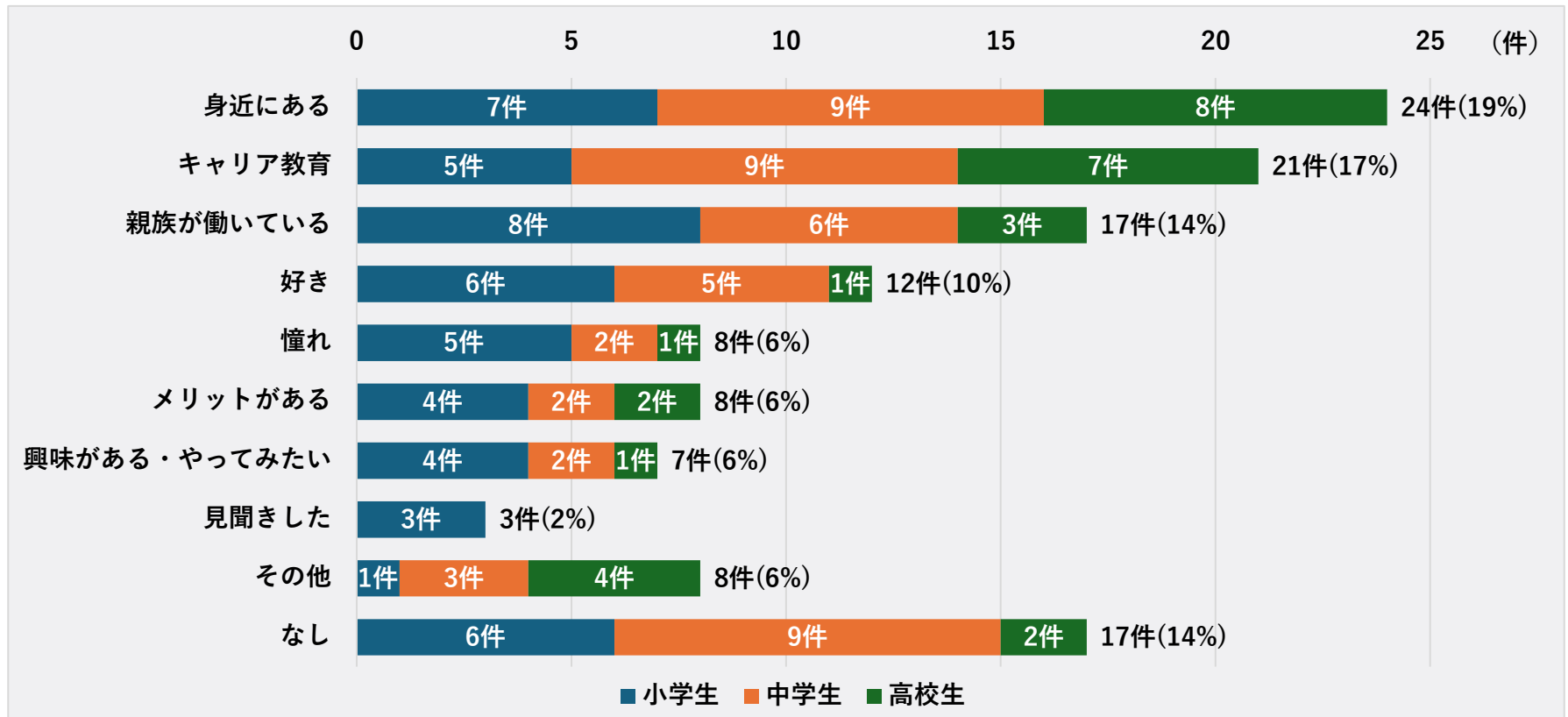
問3-5：あなたが知っていたり、働いてみたい地元の会社や仕事を教えてください（記述式：複数記載可）



- ・ 空白が104件で、有効回答数は116件。
- ・ 幅広い業種が挙げられた。
- ・ 精密機械（精密機器・電子機器の製造）の回答が最も多かった。
- ・ 食品系（味噌・菓子類の製造など）、観光業（宿泊施設や観光サービスなど）、交通系（鉄道・地域交通サービスなど）など、身近に近い会社が挙げられた。
- ・ 小学生は精密機械、食品が、中学生は医療系が、高校生は公務員が多かった。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

問3-6①：問3-5で書いた、知っていたり、働いてみたい会社や仕事の理由を教えてください（記述・概要）



- ・ 有効回答数は125件（そのうち「なし」が17件）を同様の趣旨の回答を分類した。（割合も分母を125として算出）
- ・ 「身近にある(24件)」といった趣旨が最も多く、次いで「キャリア教育(21件)」が続いた。
- ・ 職場体験等の「キャリア教育」は小学生6%に対し、中学生12%、高校生11%と中高生の割合が高かった。
- ・ 小学生は「親族が働いている」、中学生は「身近にある」「キャリア教育」「なし」、高校生は「身近にある」の割合が比較的高い。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

問3-6②：問3-5で書いた、知っていたり、働いてみたい会社や仕事の理由を教えてください

（記述原文の一部抜粋）

### ■身近にある

- 家が近いから知っている
- 小学生の頃に病院で優しくしてもらったから
- お祭りで知ったから…
- JICAのひとの話をきいたときに興味をもったから
- 家族で旅行に行ったホテルで部屋をきれいにしている人を見てやってみたいと思ったから。
- 通っている精神病院の心理士さんと話すと少し心が楽になり、すごく私の気持ちを理解してくれたり楽しませてくれたりしたので私も言葉や行動で人の心を救いたいと思い心理士になりたいと思いました。
- 地元の食事屋の活動は地域との繋がりがあって面白そうだと感じたから
- 家族や自分が行っている美容院で、親切にしてくれて、好みの髪型にしてくれるから。
- 職場の人たちがいつも楽しそうな雰囲気で行っているから

### ■キャリア教育

- 学校に講演に来てくれ、興味を持ったから
- お仕事ゼミで説明を聞いた
- インターンシップで行ったから
- 社会見学などで行って知った。
- 避暑地としての観光地であることを学校で学習してきたから。

### ■親族が働いている

- お父さんが働いている
- 親がその仕事をやっていて興味を持った
- 親戚に福祉系の仕事に就いている人が居るから。
- 叔母が美容師だから
- 親が働いていて、市役所の方は少しついていったり手伝ったのが楽しかったから。

### ■好き

- サッカーがずっと好きだから
- 漫画家・小説家を育てたいから、好きな趣味だからです。
- バスや鉄道会社などは、僕の趣味でもあるし、バスや鉄道に乗っているとわくわくする。そんなわくわくを届けられる人になりたいと思ったから。

### ■憧れ

- 漫画を読んで自分も描きたいと思ったから
- 小さい頃からの夢だから
- 野球は実際の選手をみていてすごい、カッコいいと思ったからです。

### ■メリットがある

- 家族が喜ぶから
- 公務員で安定した収入が得られるから
- 今後、ネットといった情報化が進むにつれて、コンピュータが発展してくるから興味を持った

### ■興味がある・やってみたい

- 色々な地域に行くことができるから
- 人の役に立てそうな気がするから
- 自分の動画を見ていろんな人に喜んでもらいたい

### ■見聞きした

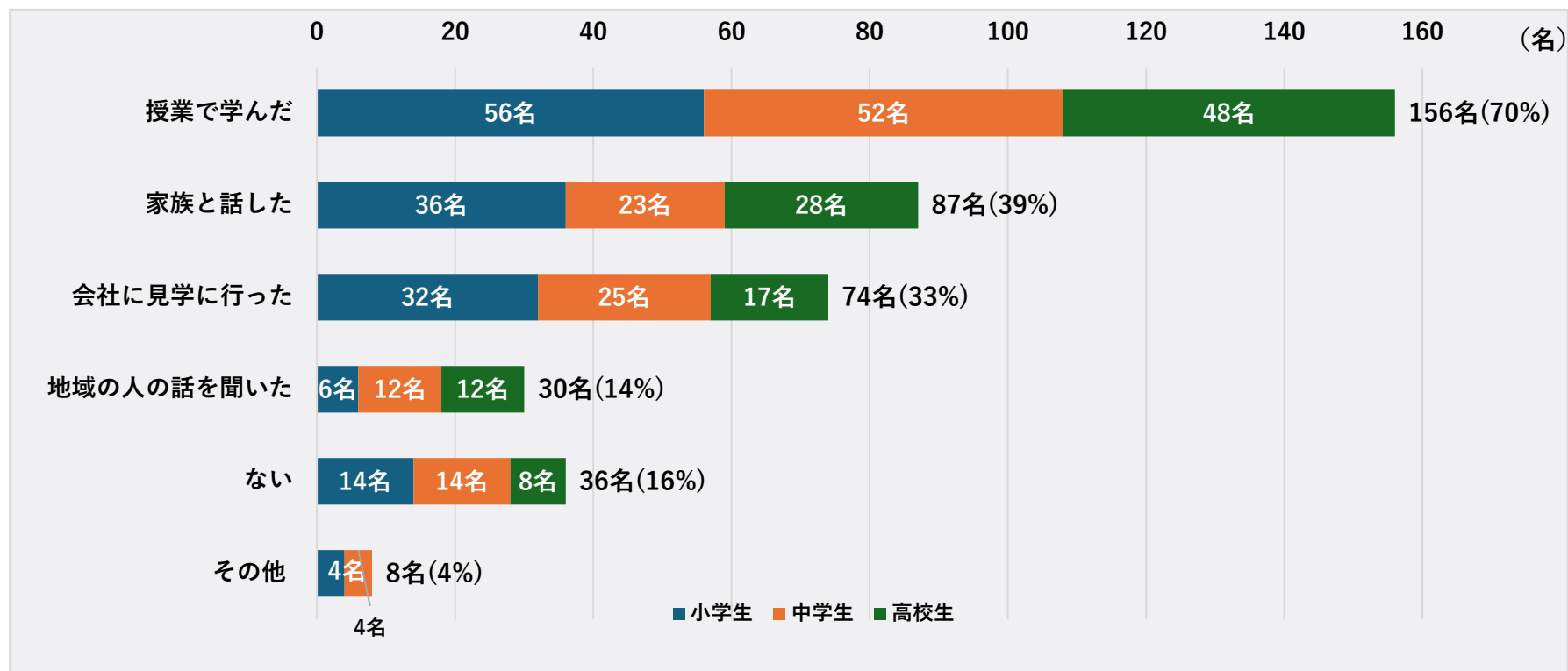
- お話を聞いたり、テレビで知ったり、本で知った。
- ドラマでみた

### ■その他

- 特に興味を持つものややりたい仕事がないから
- 時計の製造

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

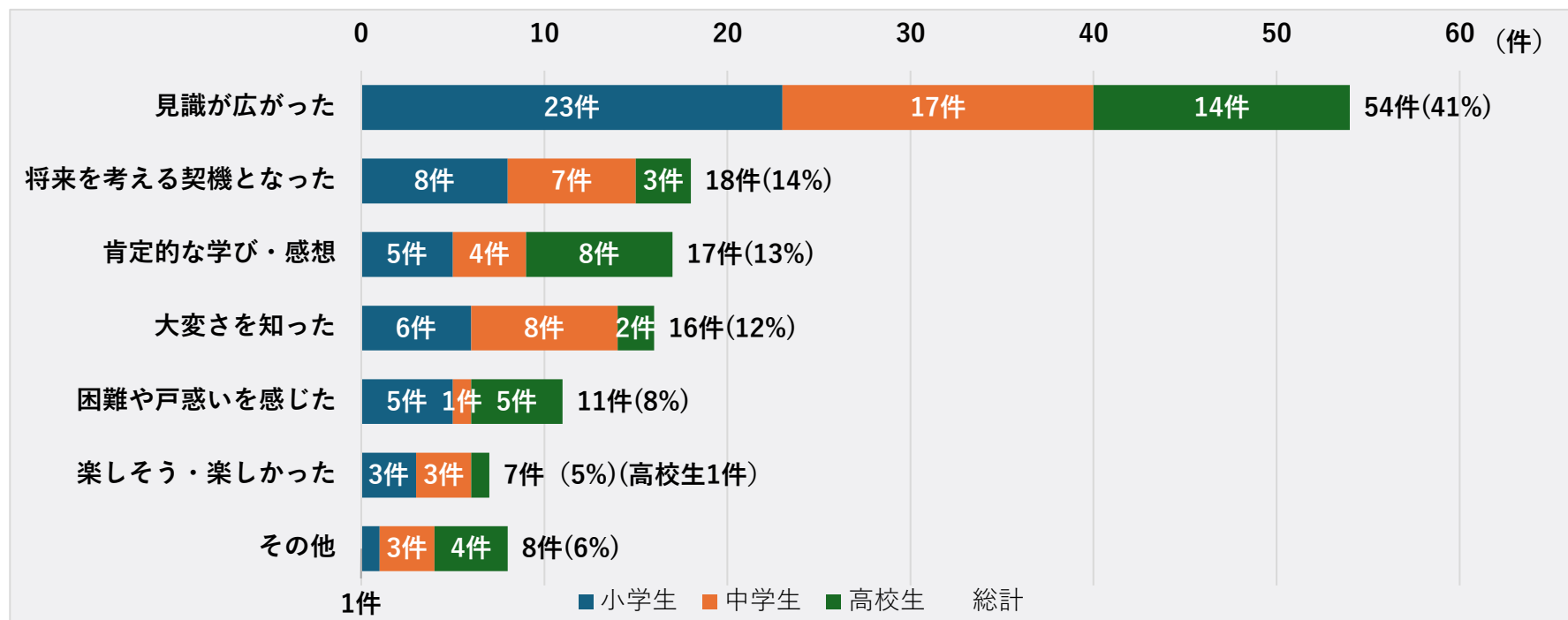
問3-7：学校や家庭で「しごと」や「働くこと」について学ぶ機会がありますか（複数回答可）



- ・ 「授業で学んだ（156名）」が70%で最も多く、次いで「家族と話した（87名）」が39%、「会社に見学に行った（74名）」が33%と続いた。
- ・ 「授業で学んだ」は小学生56名、中学生52名、高校生48名と学年が上がるにつれて低下した。
- ・ 学ぶ機会が「ない（36名）」は16%と一定数いる。
- ・ その他には、「本」、「テレビをきく」、「先生を見る」、「SNS」などがあつた。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

問3-8①：問3-7で学ぶ機会があった方は、その感想を教えてください（記述・概要）



- ・ 空欄の95件を除いた131件（複数回答含む）を、同様の趣旨の回答で分類した。（割合も分母131として算出）
- ・ 「〇〇という仕事があることを知った」などの「見識が広がった」といった趣旨が54件で最も多く、次いで「将来を考える契機となった」といった趣旨が18件、「肯定的な学び・感想」といった趣旨が17件で続いた。
- ・ 「どの仕事も大変なんだなと思った」などの「大変さを知った（16件）」といった趣旨や、「自分でなろうとは思わなかった」といった「困難や戸惑いを感じた（11件）」といった趣旨の回答も見られた。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

### 問3-8②：3-7で学ぶ機会があった方は、その感想を教えてください（記述原文の一部抜粋）

#### ■見識が広がった（自分のキャリアにとって学びになった）

- ・ とても参考になって色々な職業のことを考えるきっかけになった
- ・ 小学校の時から、時々仕事をしている人を見る機会があった。知らない仕事、普段は気にしない仕事を見ることができて、興味が湧いた。
- ・ よく知らない会社の仕事の説明を聞いたり、体験をさせてもらって興味ができた
- ・ 長野市にある会社、企業はこういうものがあると知ることができるし、将来長野市で働く時に、選択肢が広がると思った。
- ・ 知らない仕事を見学させてもらった。今後自分の将来の事を考える時の参考にしたいと思った。

#### ■将来を考える契機となった

- ・ 自分がどんな仕事で得意なのか、好きなのか、合っているのかがいまわからないけれど、知らないことを知ることで知識の幅が少しずつ広がっていると思うから、その知識を使って仕事を選ぶことができたらいいと思う。
- ・ 将来の社会で何が1番人に求められるか学びその仕事をしたいと思った。

#### ■肯定的な学び・感想

- ・ 学校で、自分の興味のある分野の講演を選んでお話が聞くことができ、SNSなどには載っていない、踏み込んだことを知れて良かった。
- ・ 自分に興味がなかった仕事でも、どのような仕事をしているかを知れるのは貴重な経験だった。
- ・ なんだかんだお客さん第一だなと思った
- ・ 観光客ありきの地域だということが分かったので、観光業は必須だと思った。観光客に合わせたバスになっているので地元の人にも利用しやすい公共交通機関が増えるといいと思った。

#### ■大変さを知った

- ・ いつも子どもたちとふれあうのは大変なものもありますが、楽しいと思えば楽しそうな仕事だと思いました。
- ・ 今までで見たり考えたりしたことのない職種だったので初めてで大変さなどがわかってよかった

#### ■困難や戸惑いを感じた

- ・ 自分でなろうとは思わなかった/あまり深くは教えてくれなかった
- ・ 探究活動、総合的な学習などで世の中にどのような仕事があるかを調べる時間より、お金のことなど生きていく上で必要なことを学ぶ時間を増やすほうが、本当に必要な力が身につくのではないかと感じた。

#### ■楽しそう・楽しかった

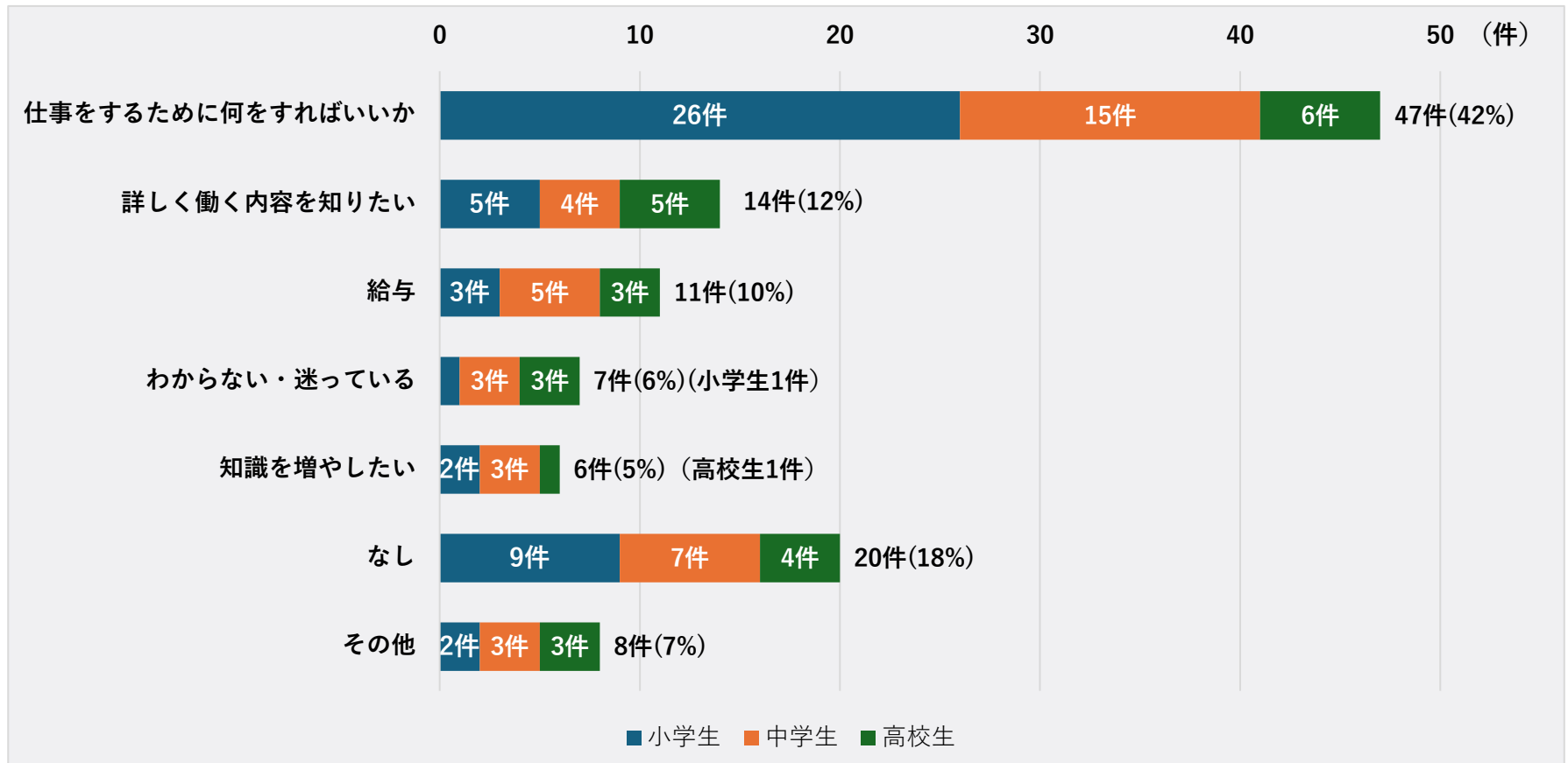
- ・ とても面白そうで、将来働くことが楽しみになった。

#### ■その他

- ・ 仕事をしたあと疲れているのかな/わからない

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

問3-9①：働くこと、仕事、地元の会社などについて、知りたいことを教えてください（記述・概要）



- ・ 空欄の111名を除いた113件（複数回答含む）を同様の趣旨の回答で分類した。（割合の分母も113とした）
- ・ 「その仕事をするために必要な資格や勉強が知りたい」といった「仕事をするために何をすればいいか」という趣旨の回答が、47件で最も多かった。
- ・ 次いで、「やりがいや大変さ」といった「詳しく働く内容を知りたい」といった趣旨が14件、「給与」が11件で続いた。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

問3-9②：働くこと、仕事、地元会社などについて、知りたいことを教えてください（記述原文の一部抜粋）

### ■仕事をするためには何をすればいいか

- どのような資格が必要か
- 建築士になるためにはどういう技術が必要なのか、資格はどこでとれるのか
- 今のうちにどんな力を備え付けておけば役に立つことが出来るのか知りたい
- 助産師になるには勉強をどのくらいしなきゃいけないか
- 漫画家になるためにはどうすればいいのか
- 様々なキャリアを経て地元に戻元したいと考えたときに、役立つ資格や特技はあるのか。
- どんな勉強をしたらいいか
- 今のうちにどんな力を備え付けておけば役に立つことが出来るのか知りたい

### ■詳しく働く内容を知りたい

- 「この仕事について良かった」と思うのか
- 趣味と仕事の両立が大変そうだが、どうしたら思うように時間を使えるか？
- 仕事の大変さを知れる上でのやりがい

### ■給与

- 給料はどのくらいでどんな仕事をするのか有給の多さや採用基準
- 給料や福利厚生

### ■わからない・迷っている

- まだ何の仕事に就きたいか迷っている ・どうやって自分のやりたい仕事を見つけたらいいか

### ■知識を増やしたい

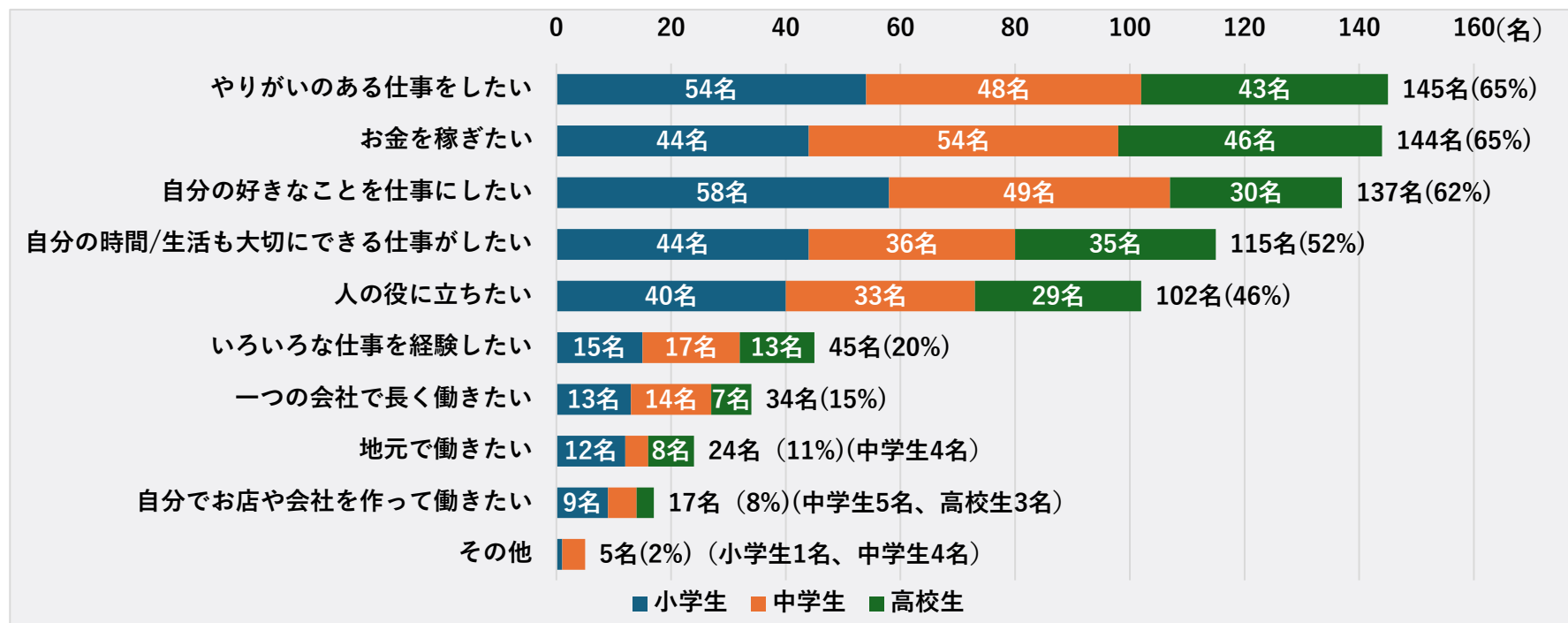
- 長野でどのくらい気象予報士が求められているのか ・デザイン系だとこの地域にはどんな会社があるのか

### ■その他

- 中学とかで決めた進路は必ずならなきゃいけないのか。
- 今の時代スマホ1つで簡単に情報を見れるためわざわざ誰かに話を聞く必要を見いだせない
- あんまり地元の会社を知らない。
- わたしは基本親にも先生にも相談できないので、簡単に相談できる安心出来る人がみんなのそばにいたらなと思います。安心できるというのは、大人側が決めるのではなく、子どもが決めます。つまり、大人にとって安心、信頼できて、子どもによって安心出来る人は違います。ひとりひとりに別々の安心できる人が必要です。ひとつの場所で子どもに聞いて、過半数が安心できると答えても、その人では絶対に駄目です。長野県を良くしてくれる皆さん。もちろん、多数派の意見を聞くのはいいですが、少数派の意見を聞いてください。県が動かないせいで困っている人がたくさんいます。質問と違う話をしてすみません。

## 5. 大問3：仕事のこと（10問）

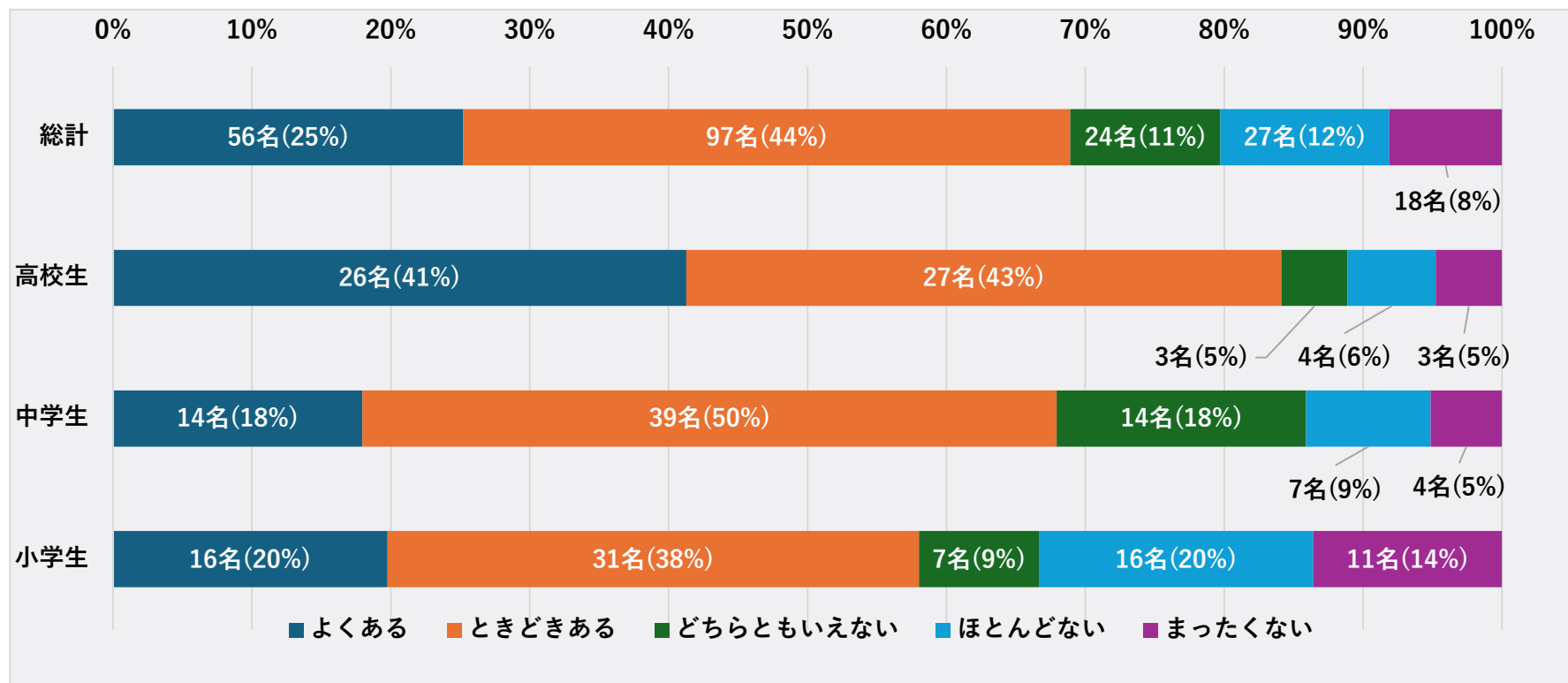
問3-10：仕事をする（選ぶ）ときに重視する（大切な）ことは何か教えてください（複数回答可）



- ・ 「やりがいのある仕事をしたい（145名）」が65.3%で最も多く、次いで「お金を稼ぎたい（144名）」（64.9%）、「自分の好きなことを仕事にしたい（137名）」（61.7%）が続いた。
- ・ 「やりがいのある仕事をしたい」は、小学生が54名、中学生が48名、高校生が43名、また「自分の好きなことを仕事にしたい」は小学生58名、中学生49名、高校生30名と、それぞれ学年が上がるにつれ低下している。
- ・ 「自分の時間/生活も大切にできる仕事がしたい」「人の役に立ちたい」も一定割合いる。
- ・ その他には、「いっぱい働かなくてもお金が稼げるような仕事がしたい」「ブラック企業にははいりたくないです」「会社の環境、経営状態」「楽しくバイトをしたい」があった。

## 6. 大問4：学校での授業やお金のこと（6問）

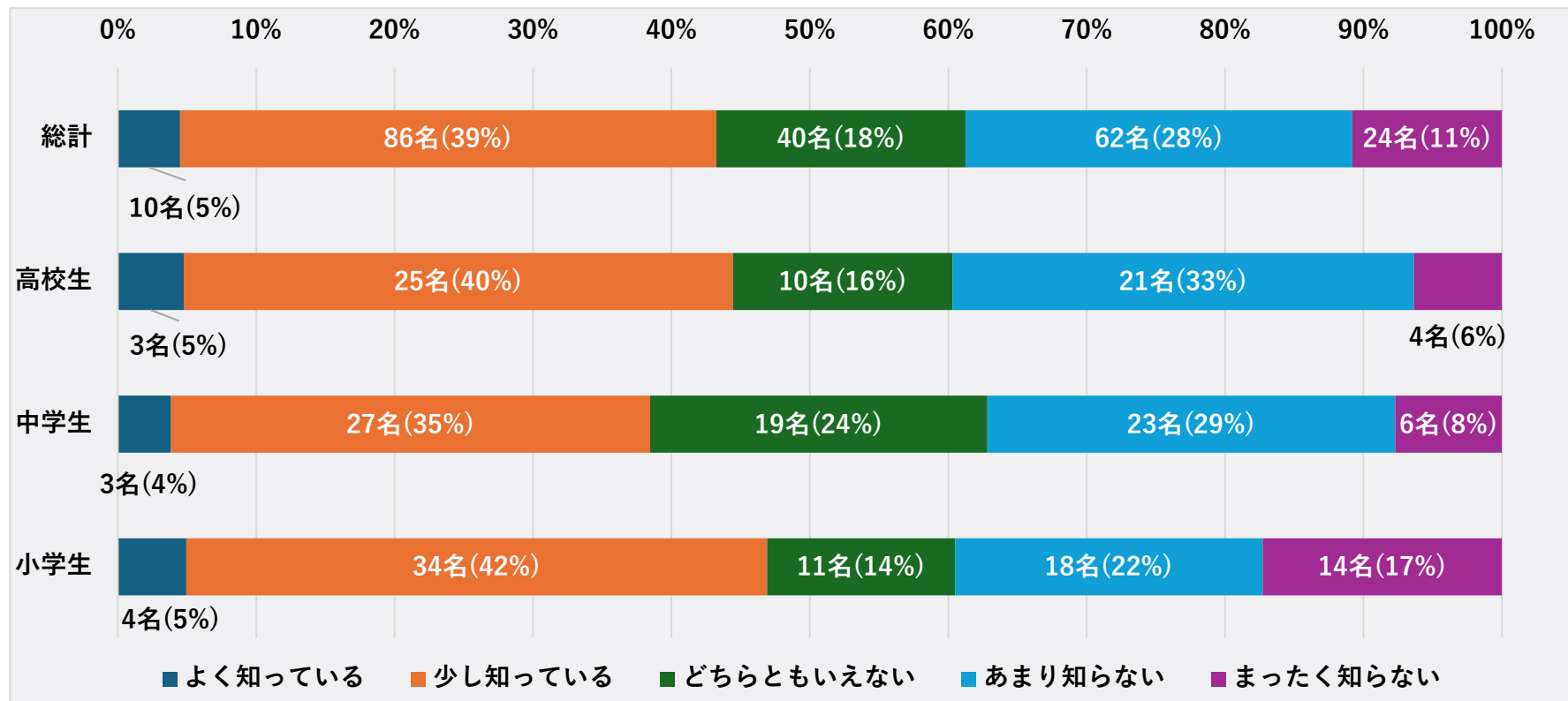
問4-1：お金のこと（今のお金の使い方や、将来どれくらい必要かなど）について考えることはありますか



- ・ 総計では、「よくある（25%）」「ときどきある（44%）」の合計69%がお金のことについて考えることがあると回答し、「ほとんどない（12%）」「まったくない（8%）」の合計20%がお金のことについて考えることがないと回答した。
- ・ 「よくある」「ときどきある」は、小学生58%、中学生68%、高校生84%と、学年が上がるにつれて上昇した。
- ・ 「ときどきある」は中学生が50%と最も高く（小学生38%、高校生43%）、一方「よくある」は高校生が41%と、小学生20%、中学生18%に比べて高い傾向となった。

## 6. 大問4：学校での授業やお金のこと（6問）

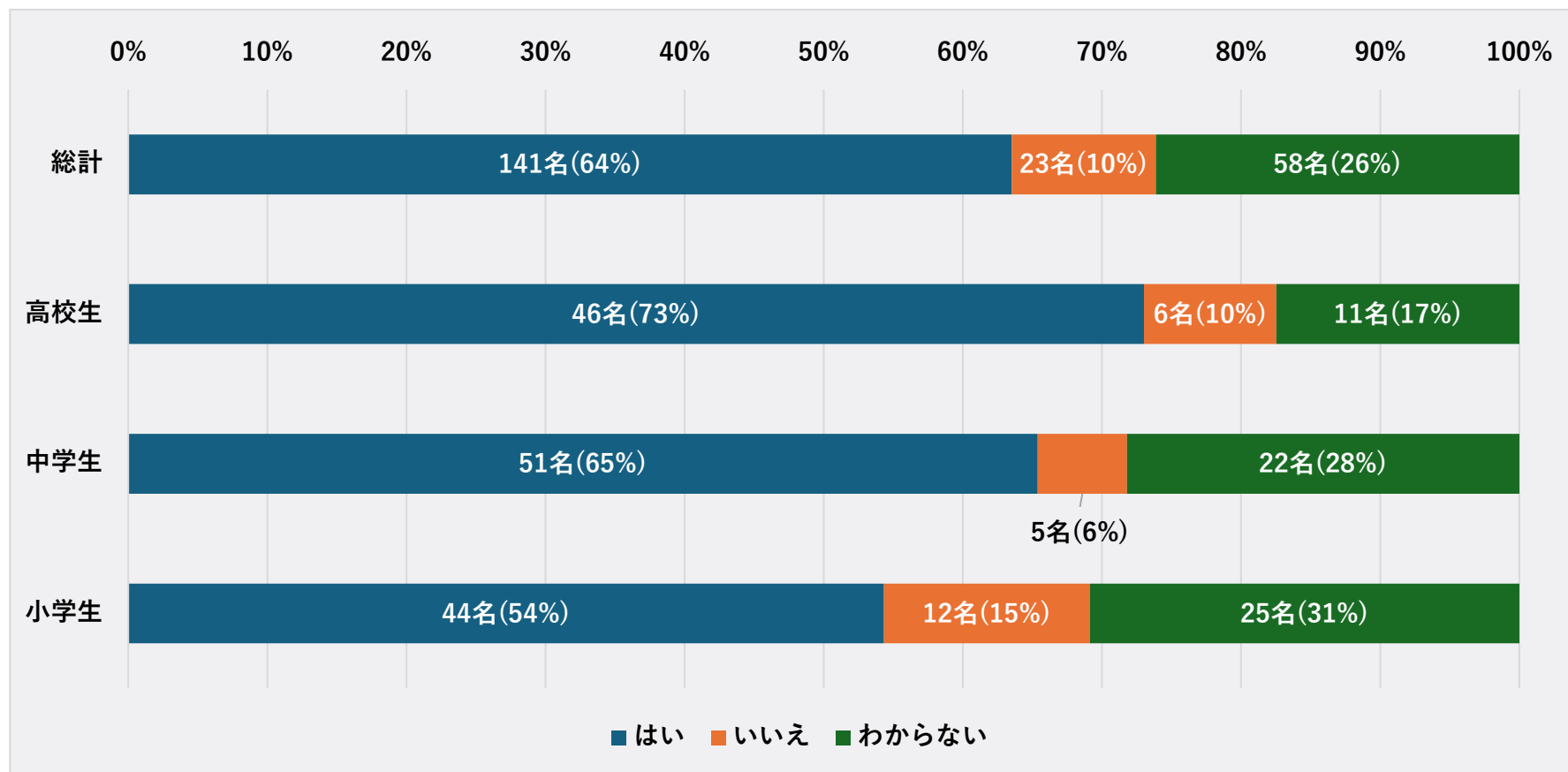
問4-2：将来の生活に必要なお金（家賃、食費、税金、交通費、病院、学費や子育てなど）について、どのくらい知っていますか



- ・ 総計では、「よく知っている（5%）」「少し知っている（39%）」の合計が43%、「あまり知らない（28%）」「まったく知らない（11%）」の合計が39%と拮抗している。
- ・ 「まったく知らない」は小学生が17%、中学生が8%、高校生が6%と、学年が上がるにつれて低下している。
- ・ 「よく知っている」は全学年で5%前後と少ない。

## 6. 大問4：学校での授業やお金のこと（6問）

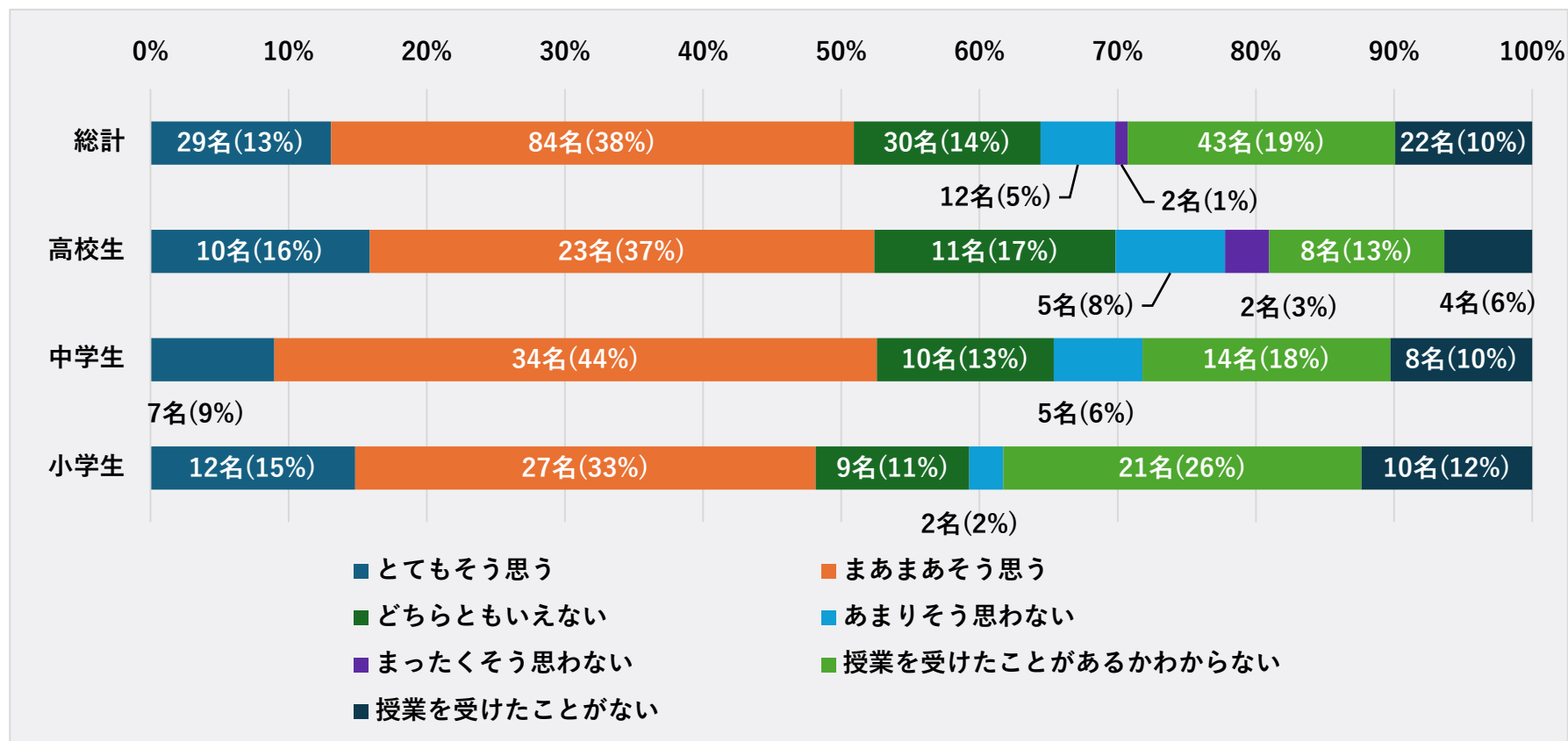
### 問4-3：学校で将来のことを考える授業を受けたことがありますか



- ・ 総計では、「はい」が64%、「いいえ」が10%、「わからない」が26%だった。
- ・ 「はい」は小学生が54%、中学生が65%、高校生が73%と、学年が上がるにつれて上昇し、「わからない」は小学生31%、中学生28%、高校生17%と学年が上がるにつれて低下している。

## 6. 大問4：学校での授業やお金のこと（6問）

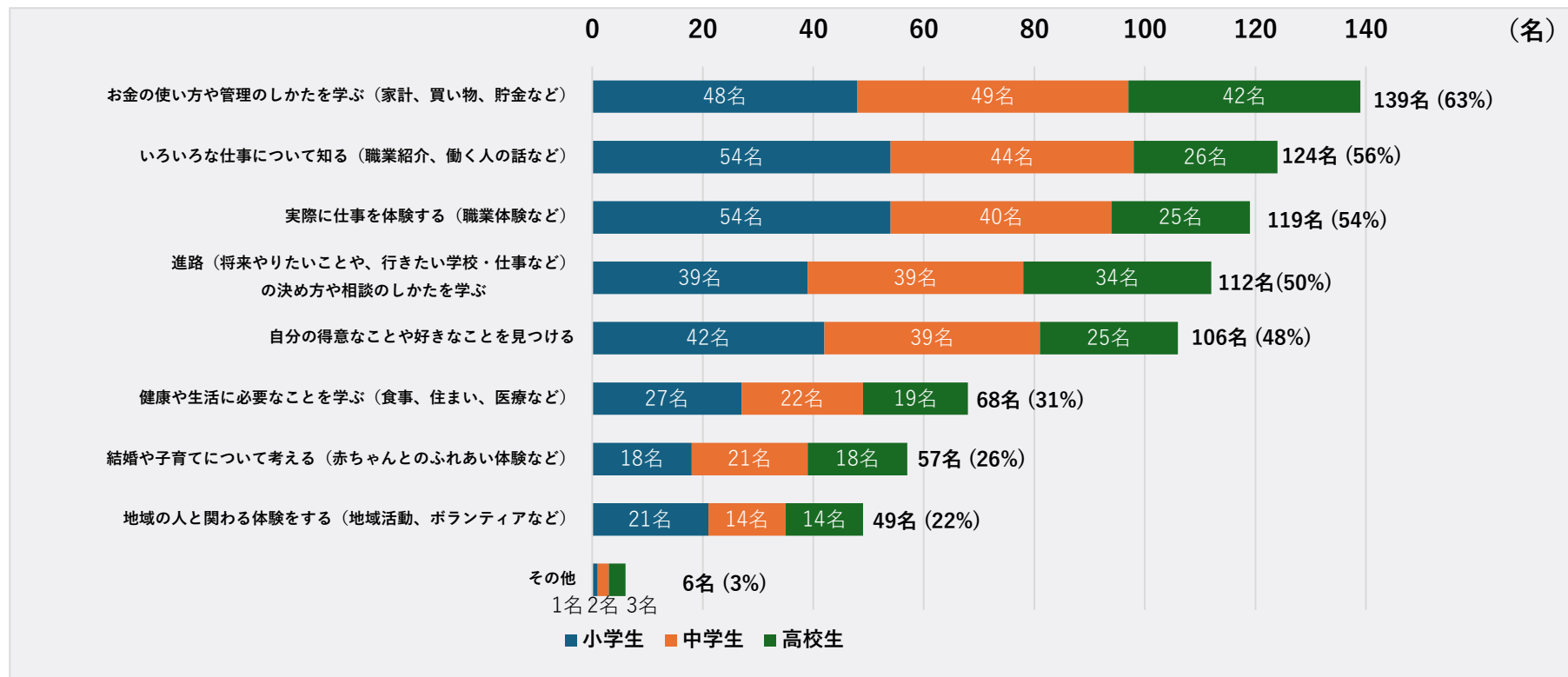
問4-4：その授業は役に立ったと思いますか



- ・ 総計では、「とてもそう思う（13%）」「まあまあそう思う（38%）」の合計が51%、一方、「あまりそう思わない（5%）」「まったくそう思わない（1%）」は6%だった。
- ・ 「どちらともいえない」が小学生11%、中学生13%、高校生17%、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の合計が小学生2%、中学生6%、高校生11%と学年が上がるにつれて増加している。

## 6. 大問4：学校での授業やお金のこと（6問）

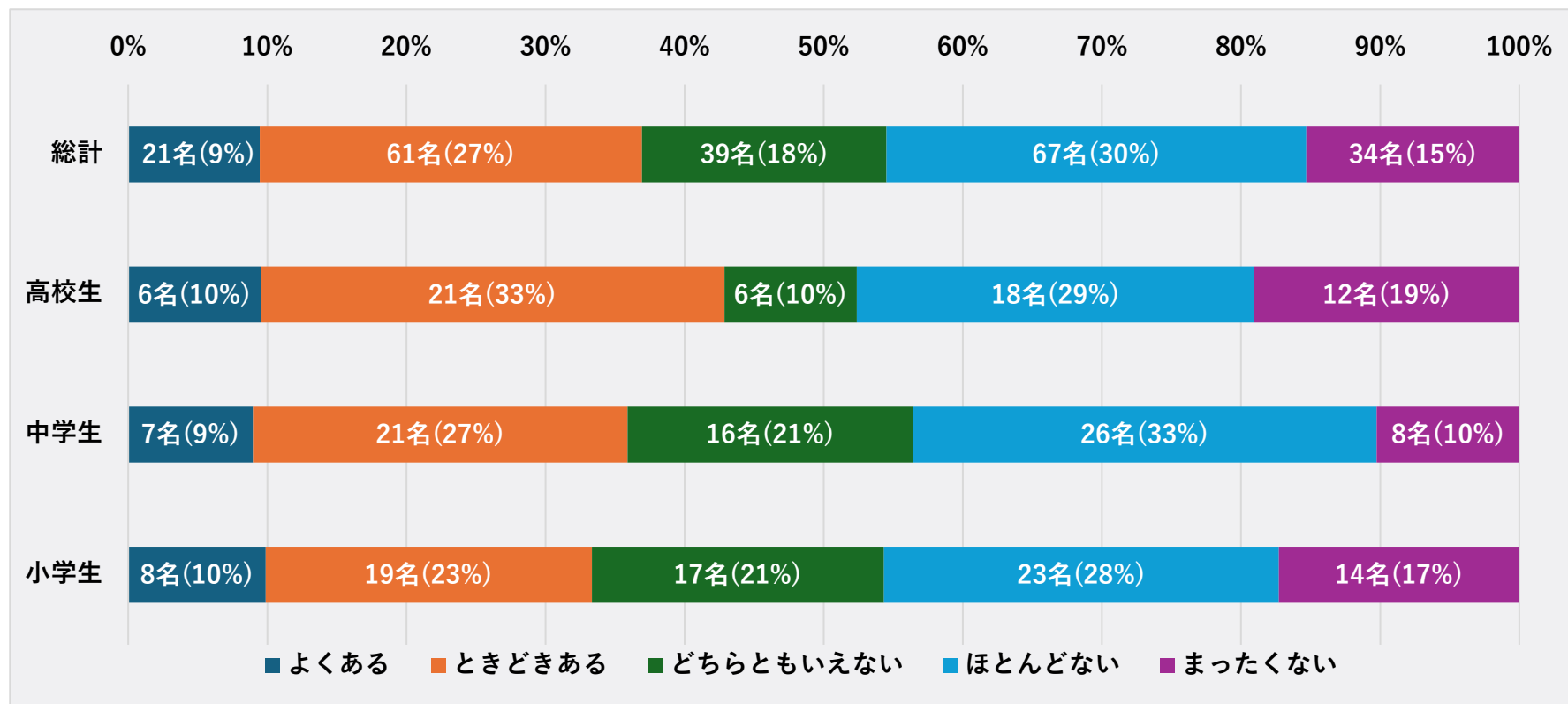
問4-5：学校で、将来のことを考える授業があるとしたら、どんな内容があるといいと思いますか  
（複数選択可）



- ・ 「お金の使い方や管理のしかたを学ぶ（家計、買い物、貯金など）（139名）」が63%で最も多く、次いで「いろいろな仕事について知る（職業紹介、働く人の話など）（124名）」が56%、「実際に仕事を体験する（職業紹介、働く人の話など）（119名）」が54%で続いた。
- ・ 「進路（将来やりたいことや、行きたい学校・仕事など）の決め方や相談のしかたを学ぶ」は、小学生と中学生が39名となり、高校生の34名よりも多くなった。
- ・ その他には、「不登校のためわからない」や、「そのような授業に意味を見いだせない」とする回答があった。

## 6. 大問4：学校での授業やお金のこと（6問）

問4-6：学校での授業以外では、家族（や学校の先生）以外の大人（地域の企業の人など）から、生き方や仕事について聞く機会がありますか



- ・ 総計では、「よくある（9%）」「ときどきある（27%）」の合計が37%となった一方、「ほとんどない（30%）」「まったくない（15%）」の合計が45%となり、家族以外の大人から生き方について聞く機会がないとした回答が上回った。
- ・ 学年別に「よくある」「ときどきある」の合計は、小学生が33%、中学生が36%、高校生が43%となり、学年が上がるにつれ機会が増加する一方で、「ほとんどない」「まったくない」の合計は、小学生が46%、中学生が44%、高校生が48%と大きな変動はなかった。

# 7.調査結果から見えてきたこと

## 1 発達段階に伴う「自己理解」の変化

- ・年代別に見ると、大きな変化がない設問と、学年の上昇とともに変化していく設問に分かれる。
- ・ライフステージが進むにつれ、将来の生活を日常的な課題として具体的に捉え直す傾向が強まっている。

→ 成長に伴う変化を理解し、一人ひとりの進路への不安に寄り添った伴走支援が大切

## 2 自立に向けた「現実的な不安」への寄り添い

- ・全年代を通じて「希望する学び場への進学」や「経済的困窮」といった現実的な不安を持つ生徒が多くいる。
- ・お金の使い方や志望する職業へのルートなど、不安の解消する方法を理解していない生徒も見られる。

→ 将来への漠然とした不安を解消するため、就業や生活に関する具体的で実践的な情報提供が必要

## 3 「家庭環境」と「直接体験」による職業観の形成

- ・将来を考える際、頼りにする情報や相談先はいずれも「家族」が最多で、家庭環境がキャリア形成において重要な役割を担っている。
- ・職場体験などのキャリア教育は、知らない仕事を知り、自分の視野を広げる貴重な契機となっている。

→ キャリア教育で経験・知見を広げる機会を提供しつつ、「家庭」と連携した支援が必要

## 4 「県内で活躍したい」という意欲を形にする

- ・働く場所として「長野県内（地元含む）」を希望する層が最多であり、根強い地元志向が確認できる。
- ・高校生は地域活動への参画機会が少ない一方、将来的な地域貢献への関心は他年代より高く、潜在的な意欲を持っている。

→ 若者の「地元で活躍したい」という意向を県内定着へ繋げるための、戦略的な仕組みづくりが大切

## 5 SNSや生成AIでの情報収集への対処

- ・「自分の進路（将来やりたいことや、行きたい学校・仕事など）の相談先※問2-6」について、4位が生成AI、6位がインターネット、「将来のことを考えるとき、参考にしている情報※問2-3」についても、SNSが2位となった。
- ・ネット上には誤情報や偏った意見も多いため、それらに惑わされないようリテラシーが求められる。

→ デジタル情報の特性を理解し、児童・生徒が自分にとって適切な情報を選び取れるような教育が大切

**まとめ** 家庭、地域と密に連携しながら具体的な進路情報・キャリア形成の機会を提供し、  
将来を考える中で変化する児童生徒に寄り添いながら、主体的に成長できる環境づくりを！

# 令和7年度 長野県こどもモニター事業

## 第2回こどもモニターアンケート調査結果

テーマ：ライフデザイン（人生設計）に関すること  
（自分のこと、将来のこと、仕事のこと、学校の授業やお金のこと）

### 【クロス集計結果】

令和8年3月  
長野県

事業受託者：株式会社C&Yパートナーズ

## 4. 大問2：将来のこと (9)～(11)

### 問2-9～問2-11：クロス集計表

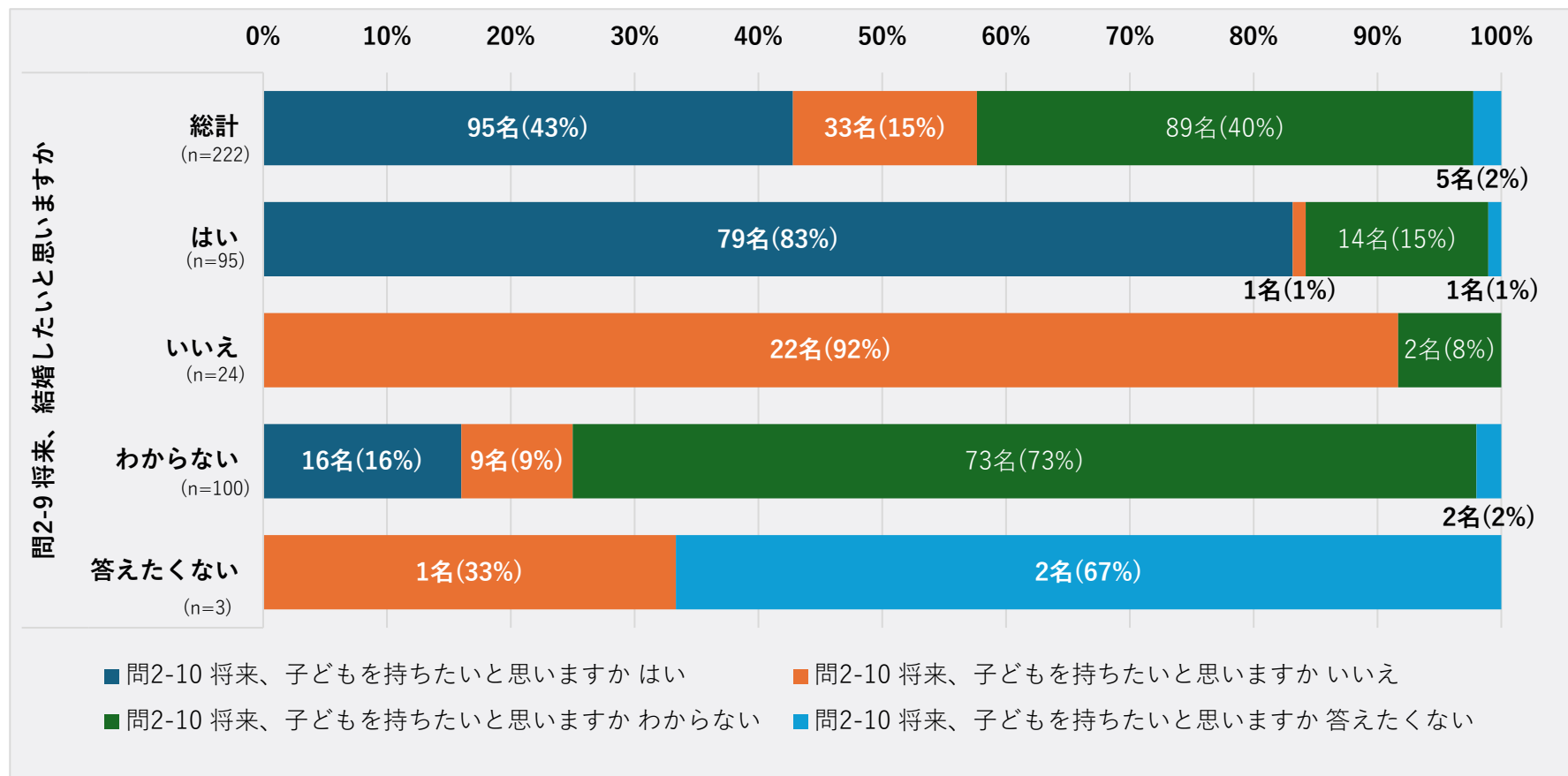
		問2-10 将来、子どもを持ちたいと思いますか								総計	
		はい		いいえ		わからない		答えたくない			
問2-9 将来、結婚したいと思 いますか	はい	79	(83%)	1	(1%)	14	(15%)	1	(0%)	95	(100%)
	いいえ	0	(0%)	22	(92%)	2	(8%)	0	(0%)	24	(100%)
	わからない	16	(16%)	9	(9%)	73	(73%)	2	(1%)	100	(100%)
	答えたくない	0	(0%)	1	(33%)	0	(0%)	2	(1%)	3	(100%)
総計		95	(43%)	33	(15%)	89	(40%)	5	(2%)	222	(100%)

		問2-11 赤ちゃんとふれあうこと（家族、親せき、保育体験、地域イベントなど）はありますか								総計			
		よくある		ときどきある		どちらともいえない		ほとんどない				まったくない	
問2-9 将来、結婚 したいと思 いますか	はい	10	(11%)	29	(31%)	11	(12%)	29	(31%)	16	(17%)	95	(100%)
	いいえ	2	(8%)	3	(13%)	5	(21%)	5	(21%)	9	(38%)	24	(100%)
	わからない	7	(7%)	24	(24%)	10	(10%)	35	(35%)	24	(24%)	100	(100%)
	答えたくない	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	3	(100%)	3	(100%)
総計		19	(9%)	56	(25%)	26	(12%)	69	(31%)	52	(23%)	222	(100%)

		問2-11 赤ちゃんとふれあうこと（家族、親せき、保育体験、地域イベントなど）はありますか								総計			
		よくある		ときどきある		どちらともいえない		ほとんどない				まったくない	
問2-10 将来、子ど もを持ちた いと思いま すか	はい	10	(11%)	28	(29%)	13	(14%)	28	(29%)	16	(17%)	95	(100%)
	いいえ	3	(9%)	5	(15%)	6	(18%)	7	(21%)	12	(36%)	33	(100%)
	わからない	6	(7%)	22	(25%)	7	(8%)	33	(37%)	24	(24%)	89	(100%)
	答えたくない	0	(0%)	1	(20%)	0	(0%)	1	(20%)	3	(60%)	5	(100%)
総計		19	(9%)	56	(25%)	26	(12%)	69	(31%)	52	(23%)	222	(100%)

## 4. 大問2：将来のこと (9)～(11)

問2-9：将来、結婚したいと思いますか  
&問2-10：将来、子どもを持ちたいと思いますか

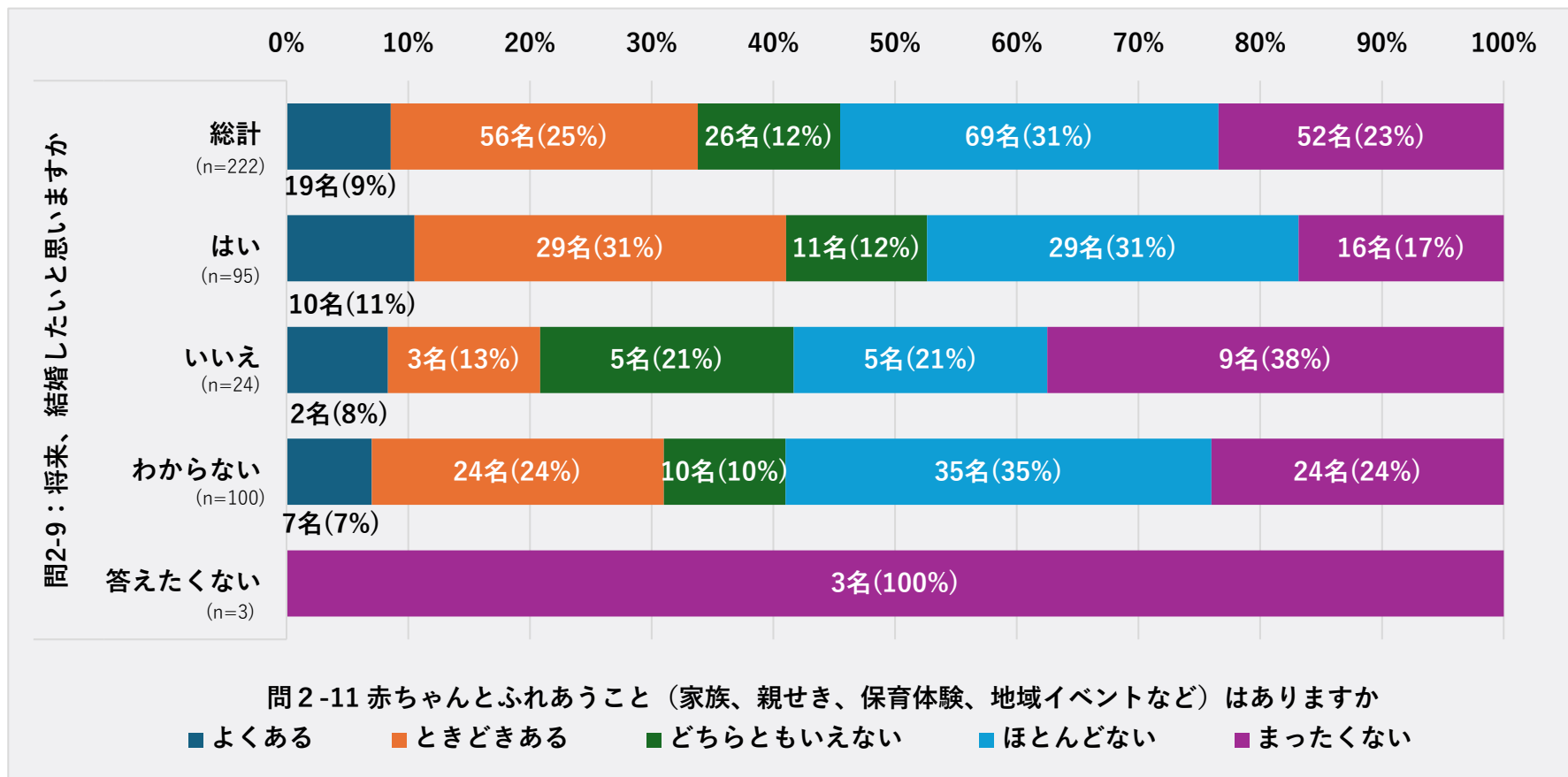


- ・ 「将来、結婚したいと思う」とした回答のうち、83%が「将来、子どもを持ちたいと思う」と回答した。
- ・ 一方で、「将来、結婚をしたくないと思わない」とした回答のうち、92%が「将来、子どもを持ちたいと思わない」と回答した。

## 4. 大問2：将来のこと (9)～(11)

問2-9：将来、結婚したいと思いますか

&問2-11：赤ちゃんとふれあうこと（家族、親せき、保育体験、地域イベントなど）はありますか

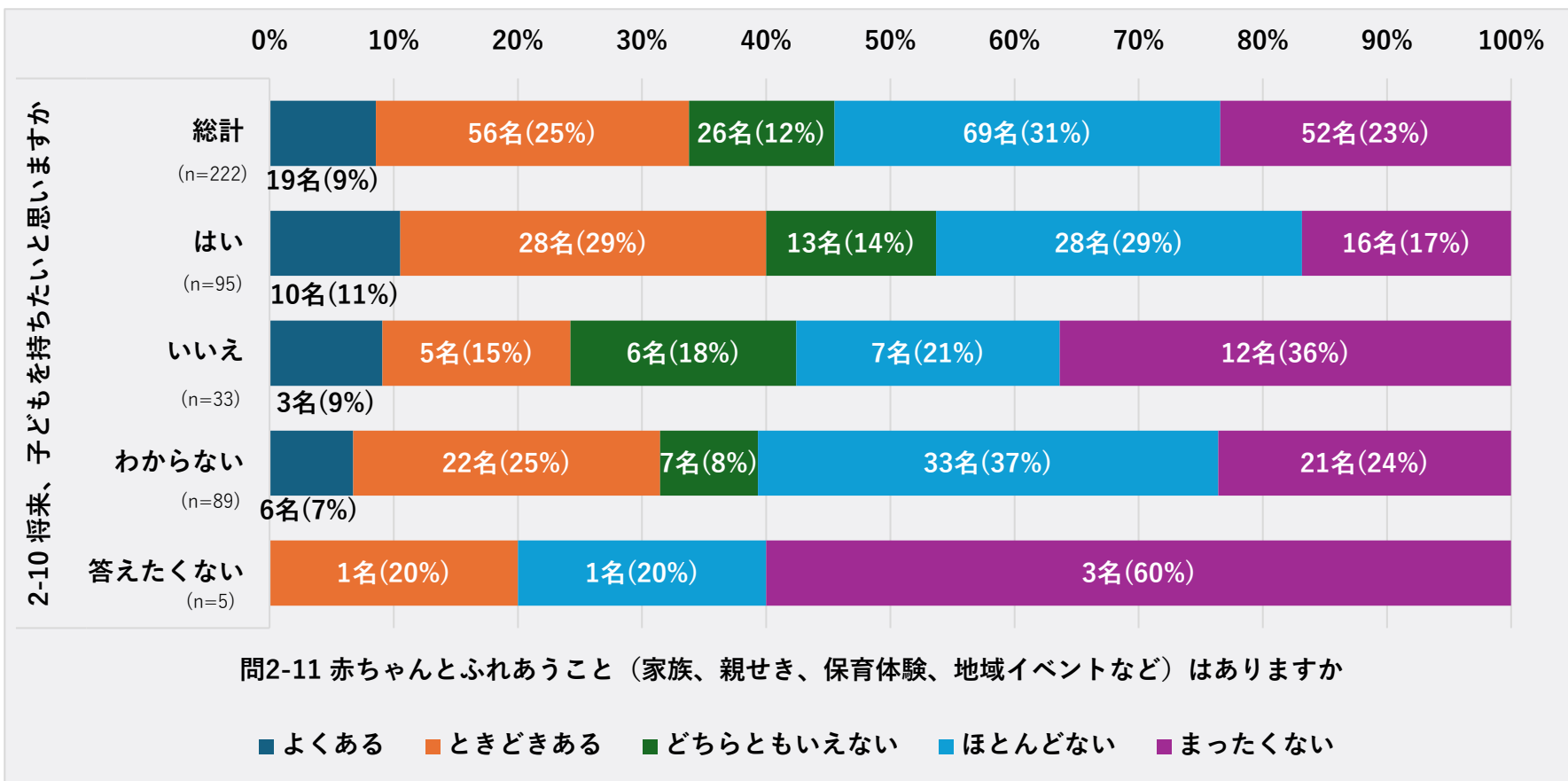


- 「将来、結婚したいと思う」と回答した人（42%）の方が、「将来、結婚したいと思わない」と回答した人（21%）よりも、「赤ちゃんとふれあうこと（家族、親せき、保育体験、地域イベントなど）」が「よくある」「ときどきある」と回答した割合が高かった。

## 4. 大問2：将来のこと (9)～(11)

問2-10：将来、子どもを持ちたいと思いますか

&問2-11：赤ちゃんとふれあうこと（家族、親せき、保育体験、地域イベントなど）はありますか



- 「将来、子どもを持ちたいと思う」と回答した人（40％）の方が、「将来、子どもを持ちたいと思わない」と回答した人（24％）に比べて、「赤ちゃんとふれあうこと」が「よくある」「ときどきある」と回答した割合が高かった。

## 4. 大問3：仕事のこと (3) ～ (4)

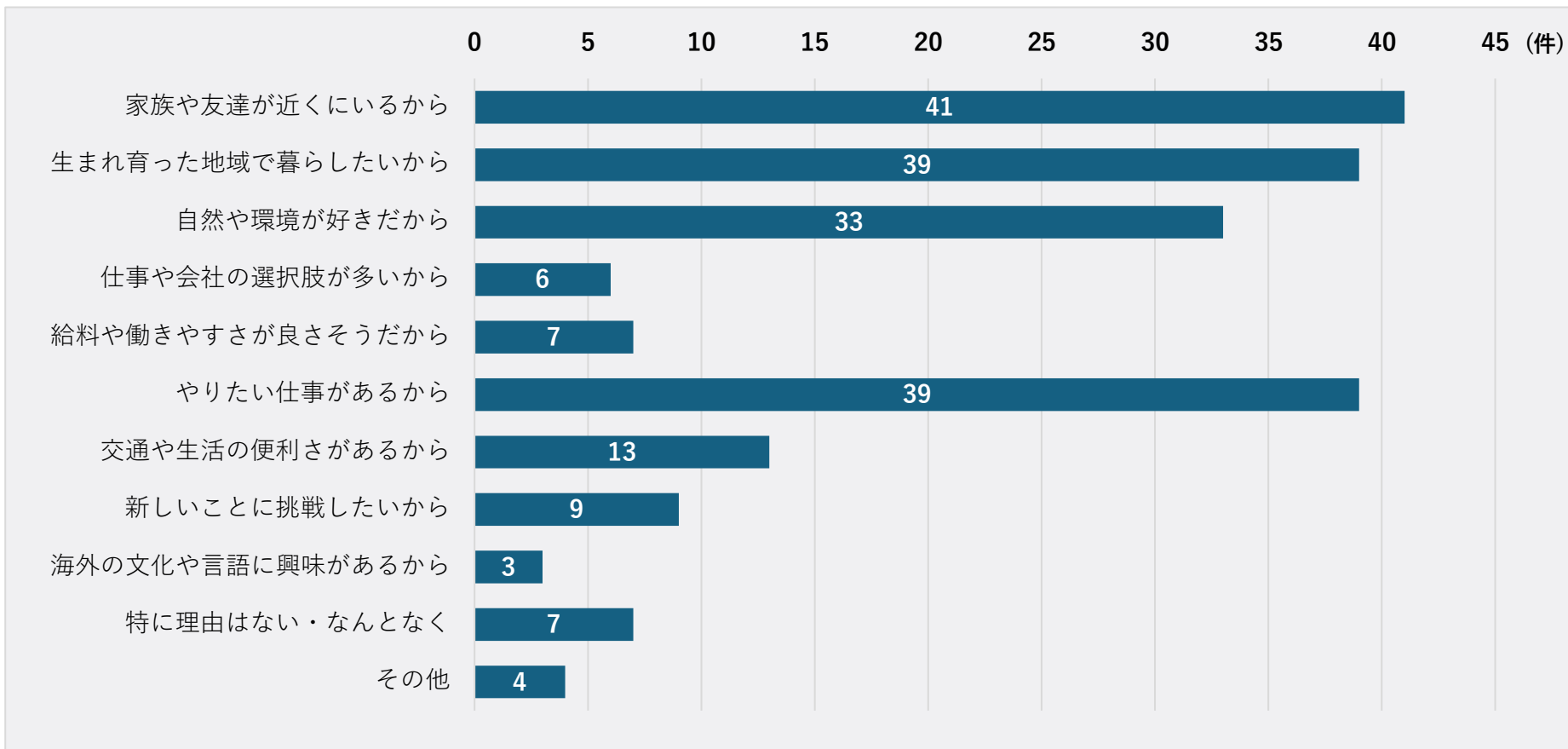
### 問3-3～問3-4：クロス集計表

		問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）																							
		家族や友達が近くにいるから		生まれ育った地域で暮らしたいから		自然や環境が好きだから		仕事や会社の選択肢が多いから		給料や働きやすさが良さそうだから		やりたい仕事があるから		交通や生活の便利さがあるから		新しいことに挑戦したいから		海外の文化や言語に興味があるから		特に理由はない・なんとなく		その他		総計	
問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか（複数回答可）	地元（あなたが住んでいる地域）	41	(64%)	39	(61%)	33	(52%)	6	(9%)	7	(11%)	39	(61%)	13	(20%)	9	(14%)	3	(5%)	7	(11%)	4	(6%)	64	(100%)
	長野県内（あなたが住んでいる地域以外）	32	(48%)	38	(57%)	38	(57%)	7	(10%)	9	(13%)	38	(57%)	10	(15%)	7	(10%)	3	(4%)	7	(10%)	8	(12%)	67	(100%)
	長野県外の都市圏（東京都・大阪府・愛知県など）	14	(22%)	12	(18%)	11	(17%)	22	(34%)	17	(26%)	12	(18%)	30	(46%)	18	(28%)	8	(12%)	9	(14%)	3	(5%)	65	(100%)
	長野県外の都市圏以外の都道府県	10	(33%)	11	(37%)	14	(47%)	6	(20%)	7	(23%)	11	(37%)	5	(17%)	9	(30%)	3	(10%)	8	(27%)	1	(3%)	30	(100%)
	海外	4	(27%)	6	(40%)	6	(40%)	5	(33%)	3	(20%)	6	(40%)	7	(47%)	10	(67%)	13	(87%)	2	(13%)	0	(0%)	15	(100%)
	場所にはこだわらない（家や好きな場所で、インターネットを使って仕事をする）	9	(20%)	9	(20%)	10	(23%)	10	(23%)	9	(20%)	9	(20%)	5	(11%)	13	(30%)	3	(7%)	13	(30%)	6	(14%)	44	(100%)
	わからない・決まっていない	3	(5%)	3	(5%)	3	(5%)	3	(5%)	1	(2%)	3	(5%)	2	(4%)	1	(2%)	0	(0%)	35	(63%)	16	(29%)	56	(100%)
	総計	60	(27%)	58	(26%)	58	(26%)	36	(16%)	31	(14%)	39	(18%)	41	(18%)	35	(16%)	13	(6%)	56	(25%)	26	(12%)	222	(100%)

※複数回答×複数回答の組み合わせであるため、例えば問3-3で「地元（あなたが住んでいる地域）」と「海外」を選び、問3-4で「家族や友達が近くにいるから」と「海外の文化や言語に興味があるから」を選んだ場合、「地元（あなたが住んでいる地域）」と「海外の文化や言語に興味があるから」の組み合わせとして1件が計上される点に留意が必要である。

## 4. 大問3：仕事のこと（3）～（4）

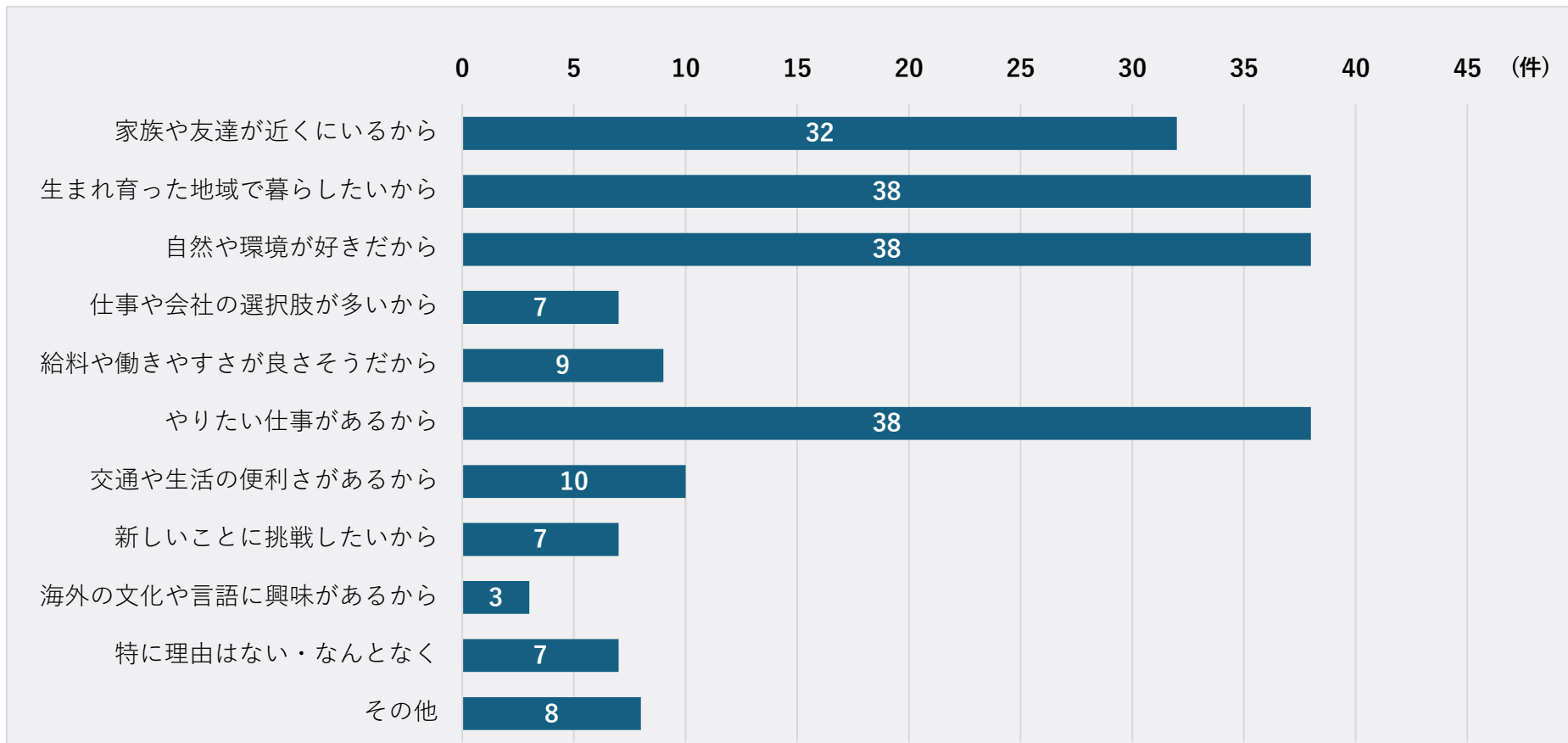
問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか：「地元（あなたが住んでいる地域）」  
&問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）



- ・ 「家族や友達が近くにいるから」が41件で最も多く、次いで「生まれ育った地域で暮らしたいから」と「やりたい仕事があるから」が39件、「自然や環境が好きだから」が33件で続いた。
- ・ 「新しいことに挑戦したいから」「給与や働きやすさが良さそうだから」と「仕事や会社の選択肢が多いから」「海外の文化や言語に興味があるから」は10件未満にとどまった。

## 4. 大問3：仕事のこと（3）～（4）

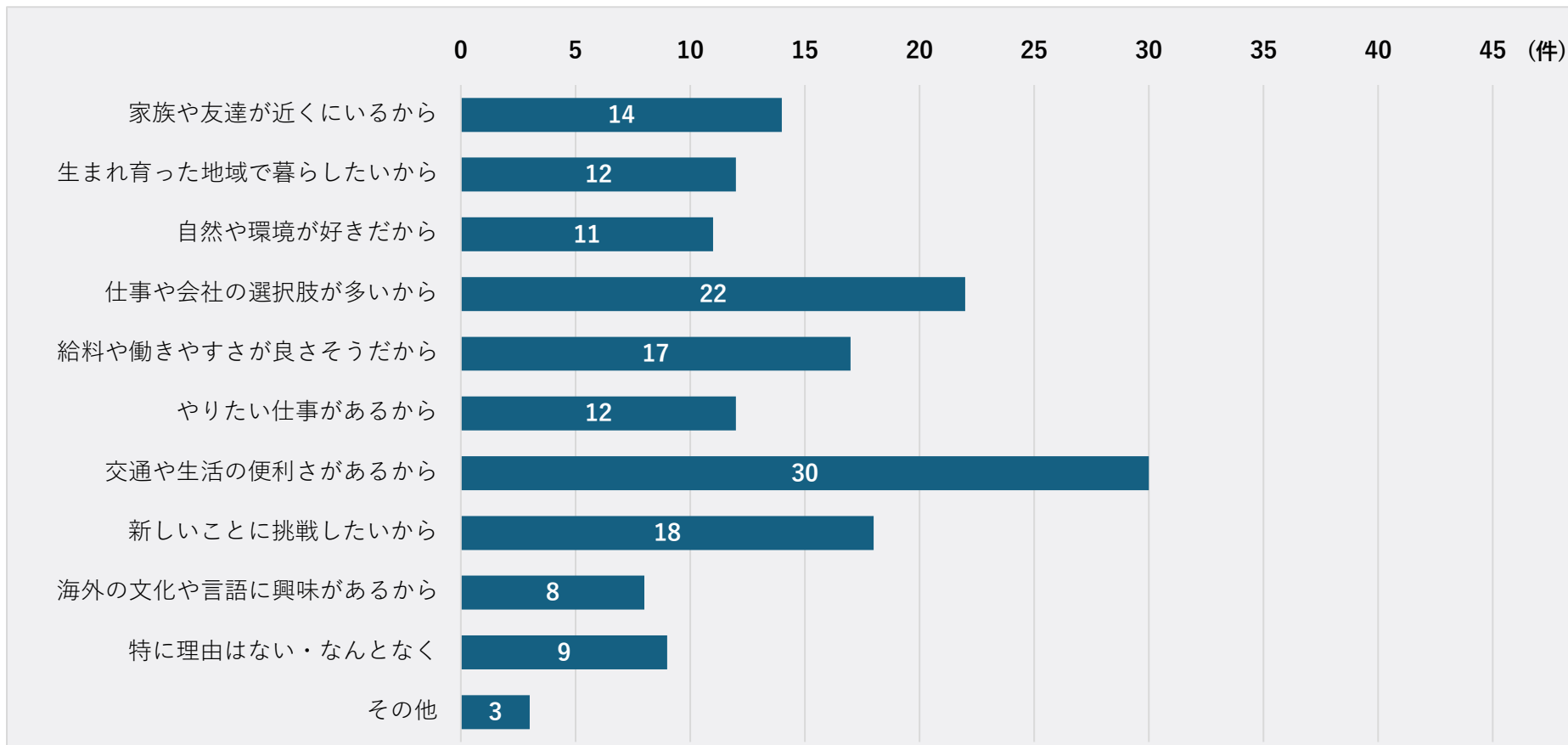
問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか：「長野県内（あなたが住んでいる地域以外）」  
& 問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）



- ・ 「家族や友達が近くにいるから」「自然や環境が好きだから」「やりたい仕事があるから」が38件で最も多く、次いで「家族や友達が近くにいるから」が32件で続いた。
- ・ 「地元（あなたが住んでいる地域）」と比較すると、「家族や友達が近くにいるから」は回答数が低くなっている。一方で、「自然や環境が好きだから」は回答数が多くなっている。

## 4. 大問3：仕事のこと（3）～（4）

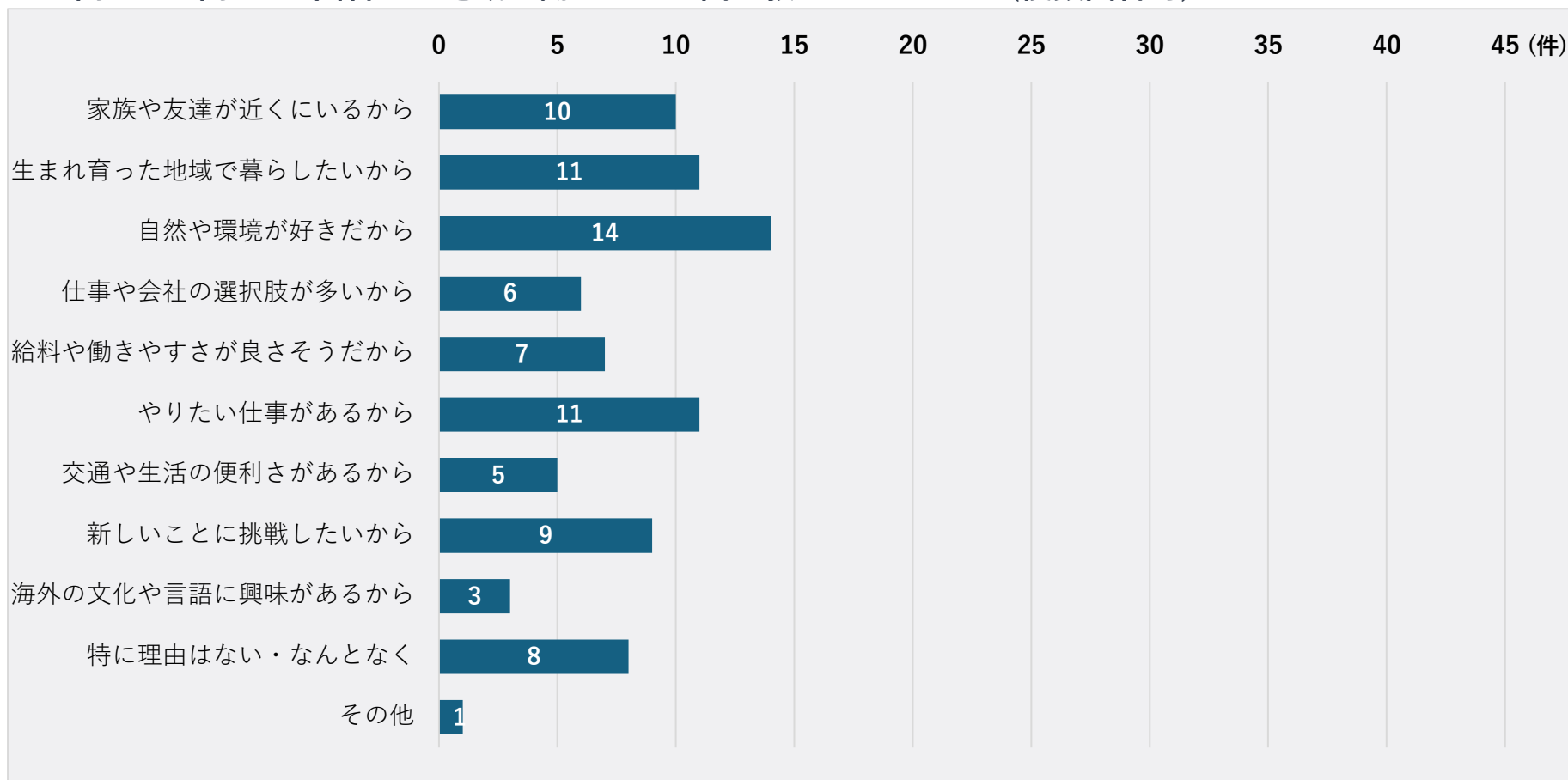
問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか：「長野県外の都市圏（東京都・大阪府・愛知県など）」  
&問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）



- 「交通や生活の便利さがあるから」が30件で最も多く、次いで「仕事や会社の選択肢が多いから」が22件、「新しいことに挑戦したいから」が18件、「給与や働きやすさが良さそうだから」が17件で続いた。

## 4. 大問3：仕事のこと（3）～（4）

問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか：「長野県外の都市圏以外の都道府県」  
& 問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）

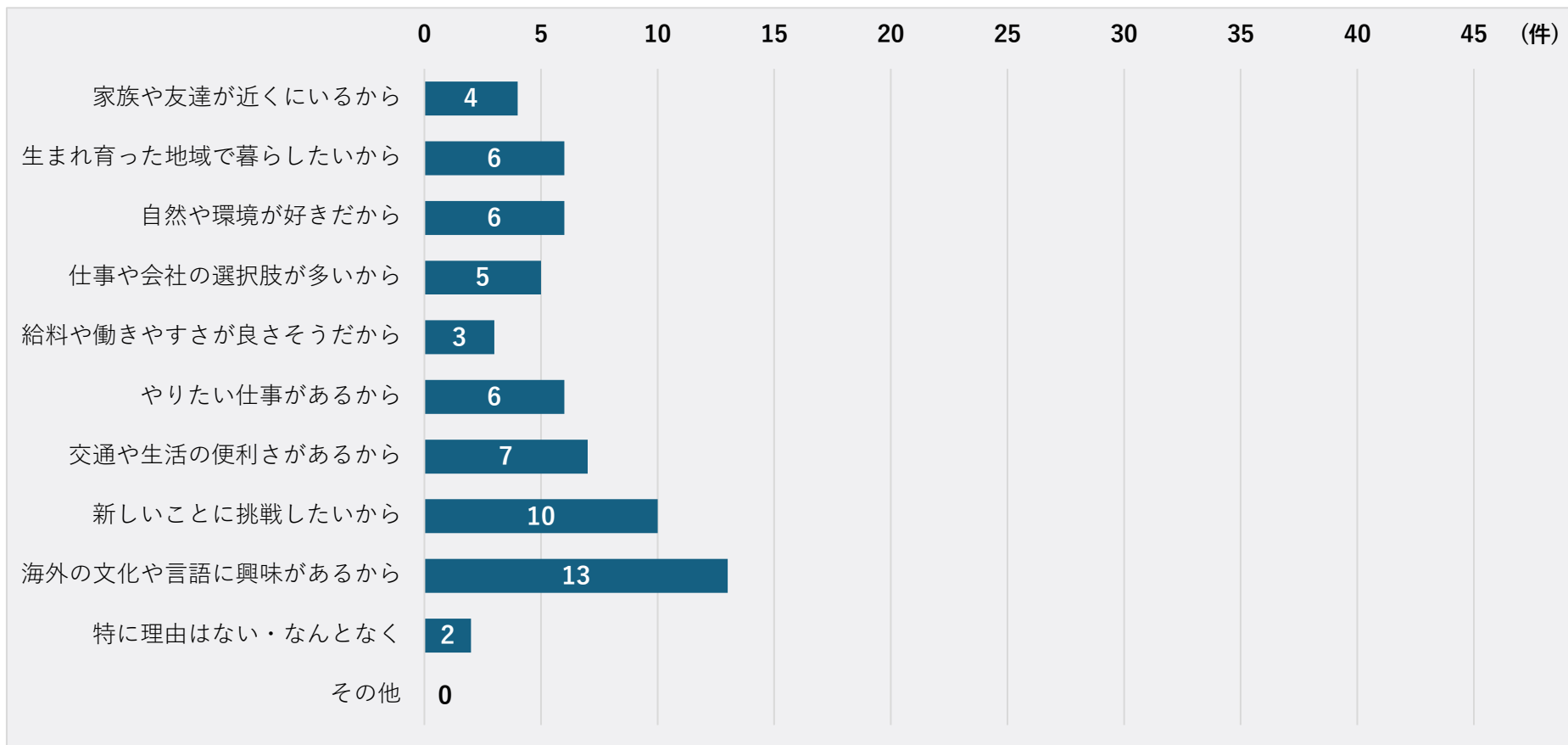


- 「自然や環境が好きだから」が14件で最も多く、次いで「生まれ育った地域で暮らしたいから」と「やりたい仕事があるから」が11件で続いた。

## 4. 大問3：仕事のこと（3）～（4）

問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか：「海外」

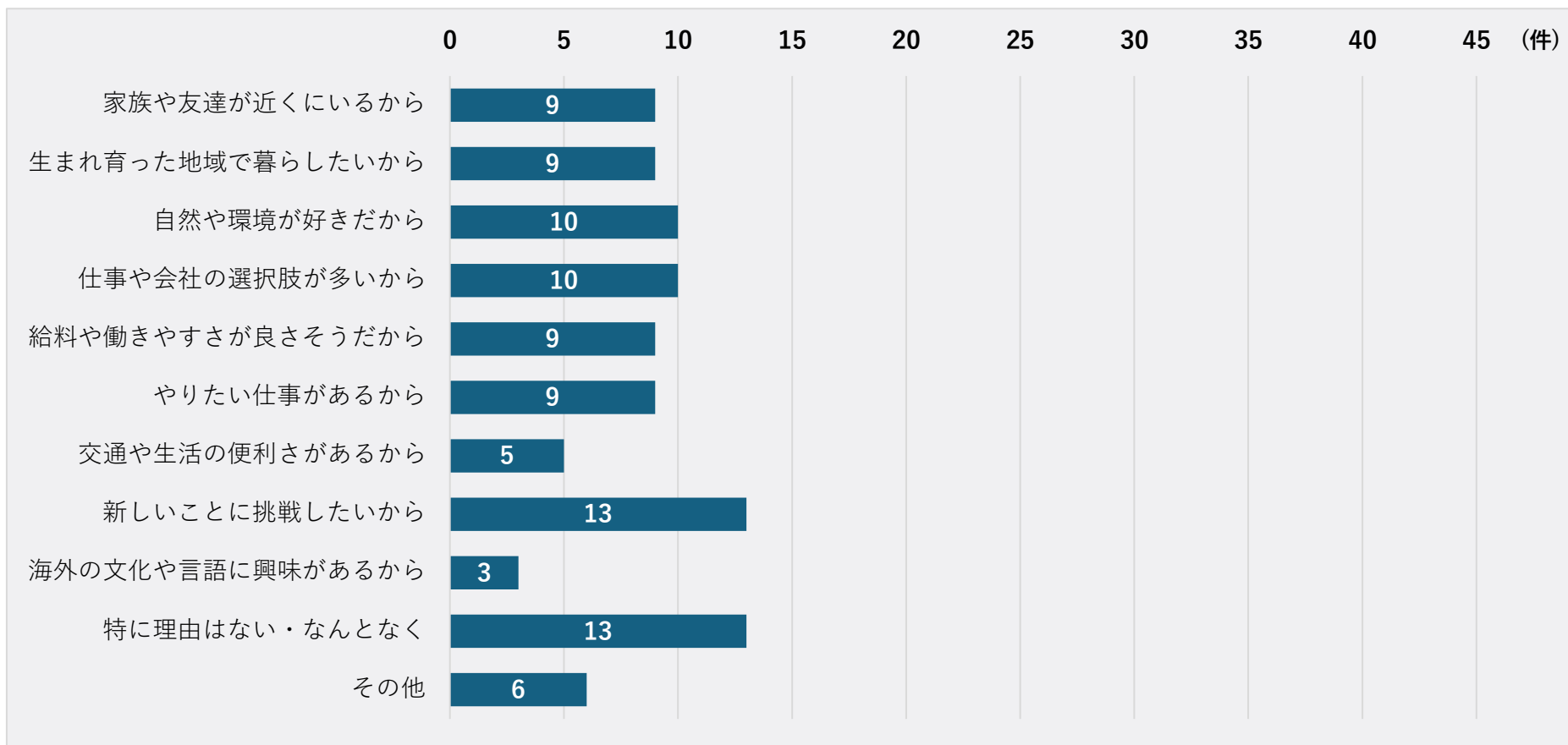
&問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）



- ・ 「海外の文化や言語に興味があるから」が13件で最も多く、次いで「新しいことに挑戦したいから」が10件で続いた。
- ・ 一方、「家族や友達が近くにいるから」「給料や働きやすさが良さそうだから」は少なかった。

## 4. 大問3：仕事のこと（3）～（4）

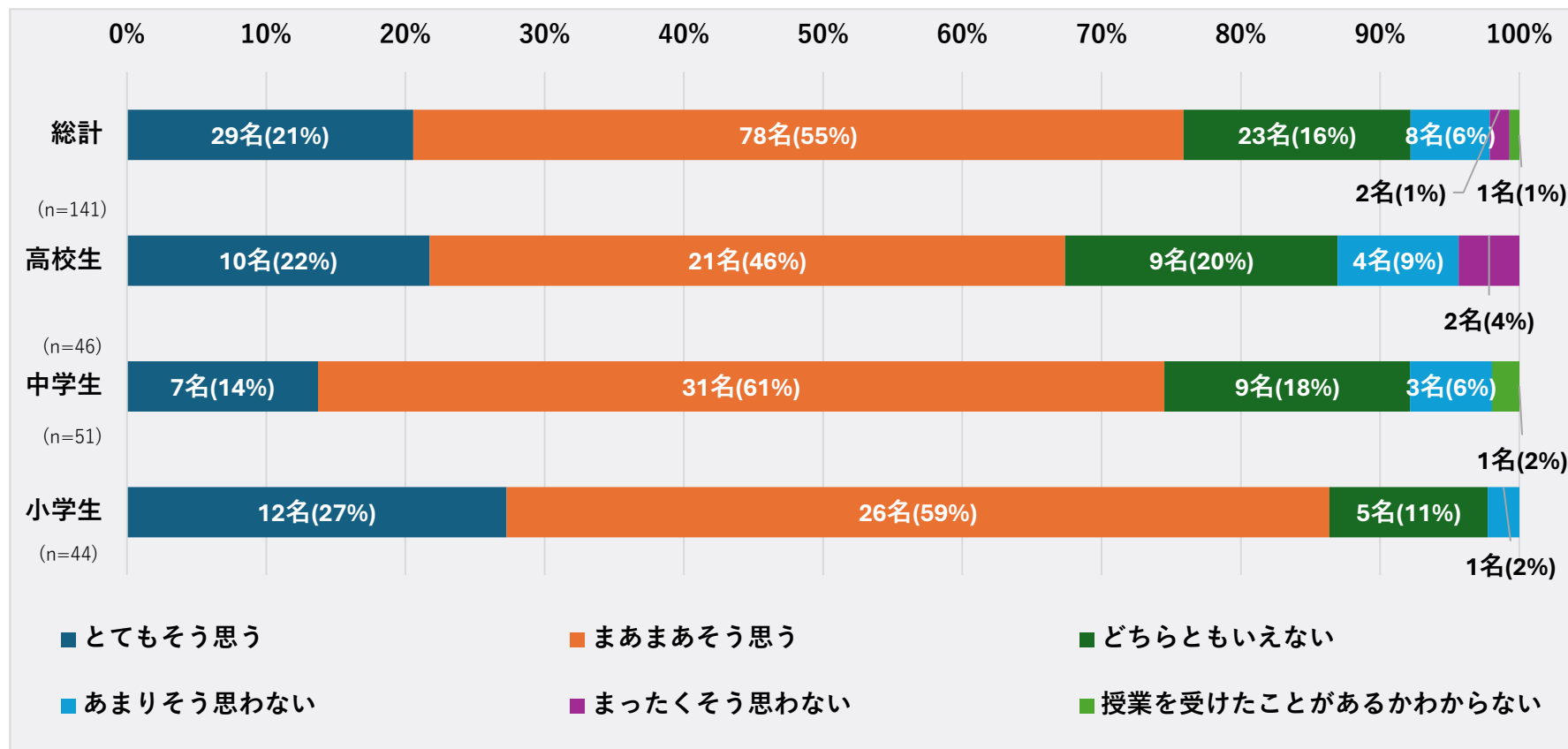
問3-3：あなたは将来どこで働きたいですか：場所にはこだわらない（家や好きな場所で、インターネットを使って仕事をする）  
&問3-4：問3-3で回答した地域で働きたい理由を教えてください（複数回答可）



- ・ 「新しいことに挑戦したいから」と「特に理由はない・なんとなく」が13件で最も多かった。
- ・ 一方、「交通や生活の便利さがあるから」「海外の言語や文化に興味があるから」は少なかった。

## 4. 大問4：学校での授業やお金のこと（3）～（4）

問4-3：学校で将来のことを考える授業を受けたことがありますか：「はい」の回答  
 &問4-4：その授業は役に立ったと思いますか



- ・ 総計では「とても思う（21%）」「まあまあ思う（55%）」の合計が76%、一方、「あまりそう思わない（6%）」「まったくそう思わない（1%）」の合計は7%だった。
- ・ 「とても思う」「まあまあ思う」の合計は、学年が上がるにつれて低下し（小学生86%、中学生75%、高校生68%）、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の合計は、上昇した（小学生13%、中学生24%、高校生33%）。